

日本外交文書

昭和期Ⅰ第一部第一卷

日付索引

昭和期Ⅰ第一部第一卷 日付索引

昭和二年（一九二七）一月

事項 番号	文書 番号	日付	電信 番号	発・受 信者	件名	頁
一〇	705	昭和2年1月2日	二	在漢口高尾総領事より 幣原外務大臣宛（電報）	日本の北方軍閥援助情報に対する陳友仁の照会について	900
五	258	昭和2年1月4日	五	在漢口高尾総領事より 幣原外務大臣宛（電報）	漢口英租界における英中衝突事件について	369
九	650	昭和2年1月4日	三	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛（電報）	二分五厘付加税への日本の反対および英国覚書に関する陳友仁外交部長の見解について	827
五	259	昭和2年1月5日	六	在漢口高尾総領事より 幣原外務大臣宛（電報）	英陸戦隊の撤退により漢口英租界は中国側に治安維持の状況について	370
五	260	昭和2年1月6日	一一	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛（電報）	ケロッグ声明および漢口英租界問題に関するマクマレー米国公使との会談報告	370
五	261	昭和2年1月6日	八	在漢口高尾総領事より 幣原外務大臣宛（電報）	国民政府の漢口英租界治安維持および外国人の生命財産保護の布告について	371
五	262	昭和2年1月7日	二二	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛（電報）	漢口英租界事件の原因およびその善後策につきランブソン英国公使と意見交換について	371
五	263	昭和2年1月7日	一三	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛（電報）	漢口英租界回収事件に関するパーソン英国総領事の談話について	373
五	264	昭和2年1月7日	一〇	在漢口高尾総領事より 幣原外務大臣宛（電報）	漢口英租界回収事件に関するパーソン英国総領事の談話について	373
五	265	昭和2年1月7日	一一	在漢口高尾総領事より 幣原外務大臣宛（電報）	非常の際日本租界の治安維持を中国側に依頼すべき旨意見具申	374
					陳友仁外交部長漢口租界回収の意向なしと仏総領事に言明について	375

五	五	五	九	五	五	五	五	九	五	五	五	九	五	五	五	九	五	五	一〇	五		
278	277	304	654	303	276	275	274	653	302	301	273	272	652	271	270	269	651	268	267	706	266	
昭和2年1月18日	昭和2年1月17日	昭和2年1月15日	昭和2年1月14日	昭和2年1月14日	昭和2年1月14日	昭和2年1月14日	昭和2年1月14日	昭和2年1月13日	昭和2年1月13日	昭和2年1月13日	昭和2年1月13日	昭和2年1月13日	昭和2年1月12日	昭和2年1月12日	昭和2年1月12日	昭和2年1月12日	昭和2年1月11日	昭和2年1月11日	昭和2年1月11日	昭和2年1月9日	昭和2年1月7日	
八五	四二	四二	六五	六六	六四	合一	一四	五〇	六一	一〇	三三	六一	二八	一〇	二六	二五	二五	二五	二	一六	一四	
在中国芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在中国芳沢公使宛(電報)	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中国芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在欧洲各大使宛(電報) 在米國松平大使宛(電報)	幣原外務大臣より 在漢口高尾総領事宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在南京森岡領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在英國松井大使より 幣原外務大臣宛(電報)	在漢口高尾総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在南京森岡領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在漢口高尾総領事宛(電報)	在漢口高尾総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣 テイリ―英國大使 会談	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在漢口高尾総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在重慶後藤領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在漢口高尾総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在漢口高尾総領事より 幣原外務大臣宛(電報)
漢口英租界問題および日本租界の防備対策等 に關し英國公使と会見について	漢口英租界問題の善後策に關する松井大使の チェンパレン英國外相との会談について	幣原外務大臣宛第四三号右覚書	上海防備のたための出兵対策を米公使と協議に ついて	關稅自主權回復および二分五厘付加税実 施に關する北京政府の照會について	上海方面防備に關する英米仏日四國領事會議 覚書について	漢口日本租界防衛に關する閣議決定について	漢口英租界問題の善後策に關する英國公使と の會談について	英公使上海防備のため日本の協力要請につい て	關稅自主權回復および二分五厘付加税に關す る大總統令公布について	英艦の南京集中の状況について	漢口租界の保護・警備方針に關する同國總 領事の談話について	漢口租界の保護・警備方針に關する同國總 領事の談話について	漢口租界の保護・警備方針に關する同國總 領事の談話について	漢口租界の保護・警備方針に關する同國總 領事の談話について	漢口租界の保護・警備方針に關する同國總 領事の談話について	漢口租界の保護・警備方針に關する同國總 領事の談話について	漢口租界の保護・警備方針に關する同國總 領事の談話について	漢口租界の保護・警備方針に關する同國總 領事の談話について	漢口租界の保護・警備方針に關する同國總 領事の談話について	漢口租界の保護・警備方針に關する同國總 領事の談話について	漢口租界の保護・警備方針に關する同國總 領事の談話について	漢口租界の保護・警備方針に關する同國總 領事の談話について
389	388	424	423	387	386	385	385	832	422	383	383	830	829	382	381	829	378	378	378	900	376	

一〇	九	五	五	五	五	八	八	九	五	二	二	一〇	九	五	五	五	九	八	八	八	五	五		
709	663	314	287	313	286	619	618	662	312	3	2	708	661	311	310	285	660	617	616	615	309	308		
昭和2年1月31日	昭和2年1月31日	昭和2年1月31日	昭和2年1月31日	昭和2年1月30日	昭和2年1月30日	昭和2年1月29日	昭和2年1月29日	昭和2年1月28日	昭和2年1月28日	昭和2年1月28日	昭和2年1月28日	昭和2年1月27日	昭和2年1月27日	昭和2年1月27日	昭和2年1月27日	昭和2年1月27日	昭和2年1月26日	昭和2年1月26日	昭和2年1月26日	昭和2年1月26日	昭和2年1月26日	昭和2年1月26日		
五二	九四	三九	一六三	三三	七五	二四	通一五	三三	七五	八二機密四	二	三〇	一四七	三二	七二	六九	七四	通一二	通一〇	一三九	二七	二七		
幣原外務大臣より 在米岡松平大使宛(電報)	幣原外務大臣より 在中国芳沢公使宛(電報)	在米岡松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中国芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在英國松井大使より 幣原外務大臣宛(電報)	在漢口高尾総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在漢口高尾総領事宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在上海矢田総領事宛(電報)	幣原外務大臣より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 幣原外務大臣宛(電報)	在米岡松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在漢口高尾総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在天津有田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	
米國務長官の对中国政策の声明は我方の政策と一致し中国時局の緩和に貢献との見解伝達方について	二分五厘付加税に関する英国の単独申入れを阻止すべき旨の訓令	上海租界中立に関する米國務長官の意向について	英租界問題に関する陳・オマリ間協定成立の実否等につき英国公使との会談について	英国の中国向出兵状況について	漢口英租界問題に関する英国側提案につき陳友仁内示について	北京政府との通商条約改訂非公式交渉に関し陳友仁に対する説明振りについて	関税自主権提案に対する質疑応答および改訂案全部の提示要求について(第二回会議議事要領)	邦人当業者の二分五厘付加税納付について	英国の对中国出兵反対の風潮について	帽児山分館開設に関し朝鮮総督府へ援助依頼について	帽児山分館開設に関し援助依頼について	中国と関税および法権問題につき商議を開始する用意ある旨の米國務長官声明について	二分五厘付加税問題宣言案に関する北京外交団会議での討議について	長官と会談について	英国の上海出兵問題等に関しケログ米國務長官と会談について	日本が上海出兵に慎重な態度をとるよう黄郛の要請について	漢口英租界問題に対する英国側提案に関し英国総領事談話について	孫伝芳の二分五厘付加税徴収に対する邦人当業者および各国の態度について	付加税に関する言明差控え方について	関税自主権に関する中国側提案について	関税自主権に関する外交部覚書送付について	別電 一月二十六日着在中國芳沢公使より幣原外務大臣宛通第一一〇号 関税自主権に関する外交部覚書	英国の中国出兵に関する新聞論調について	日本の陸兵派遣拒否により英国は追加派兵を決定との英公使談話について
903	845	432	398	432	396	781	779	844	431	69	68	902	843	429	429	396	842	779	778	776	776	428	427	

日付索引

五	九	八	五	五	一〇	五	五	五	九	五	五	五	五	九	五	八	五	五	九	五					
323	667	621	322	321	710	320	319	291	666	318				317	290			289	665						
昭和2年2月7日	昭和2年2月(6)日	昭和2年2月(6)日	昭和2年2月5日	昭和2年2月5日	昭和2年2月4日	昭和2年2月4日	昭和2年2月4日	昭和2年2月4日	昭和2年2月3日	昭和2年2月3日				昭和2年2月3日	昭和2年2月3日			昭和2年2月(3)日	昭和2年2月(2)日						
一九三	一八八	通一八	四四	一八三	九一	三六	一八〇	一八二	九八	八八				三一	六一			八三	一七二						
幣原外務大臣宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在米國松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在漢口高尾総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在英國松井大使宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)				
在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在米國松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在漢口高尾総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在英國松井大使宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)				
英國の上海出兵の他地方在留日米人に及ぼす影響につき英國公使問合わせについて	二月五日着在中國芳沢公使より幣原外務大臣宛第一八九号 アグレン罷免に対する外交団共同抗議書	二月五日着在中國芳沢公使より幣原外務大臣宛第一八九号 アグレン罷免に対する外交団共同抗議書	上海中立化案に関する國務省極東部長との会谈について	二月五日着在中國芳沢公使より幣原外務大臣宛第一八四号 上海中立に関する米國の國民軍および安國軍あて通告について	漢口高尾総領事より幣原外務大臣宛(電報)	英國の對中國出兵に直に同調出来ない理由等表明について	米國の南北會議提案などに対する陳友仁の談話について	上海中立に関する米國の國民軍および安國軍あて通告について	英國の對中國出兵に直に同調出来ない理由等表明について	漢口事件善後交渉に関し英軍隊の香港上陸も考慮と英公使内話について	米國の上海中立提案には今暫らく静觀方について	在留邦人の保護に関する工部局側と打合せについて	アグレン罷免問題につき英國を支援すべき旨の訓令	英國の對中國出兵に直に同調出来ない理由等表明について	漢口事件善後交渉に関し英軍隊の香港上陸も考慮と英公使内話について	米國の上海中立提案には今暫らく静觀方について	在留邦人の保護に関する工部局側と打合せについて	アグレン罷免問題につき英國を支援すべき旨の訓令	英國の對中國出兵に直に同調出来ない理由等表明について	漢口事件善後交渉に関し英軍隊の香港上陸も考慮と英公使内話について	米國の上海中立提案には今暫らく静觀方について	在留邦人の保護に関する工部局側と打合せについて			
442	849	848	442	440	904	438	437	403	847	436				435	401	400	399	846	783	782	782	435	399	846	433

八	五	三	八	八	五	二	九	五	五	五	五	五	九	九	八	五	五	五	五	八	五	五	五	
626	335	67	625	624	334	4	670	333	332	331	330	329	669	668	623	328	327	326	293	622	325	292	324	
昭和2年2月18日	昭和2年2月17日	昭和2年2月16日	昭和2年2月(15)日	昭和2年2月(15)日	昭和2年2月15日	昭和2年2月15日	昭和2年2月14日	昭和2年2月14日	昭和2年2月(13)日	昭和2年2月(13)日	昭和2年2月11日	昭和2年2月11日	昭和2年2月(10)日	昭和2年2月(10)日	昭和2年2月10日	昭和2年2月10日	昭和2年2月10日	昭和2年2月10日	昭和2年2月10日	昭和2年2月(9)日	昭和2年2月(8)日	昭和2年2月8日	昭和2年2月7日	
通五	公信一三八		通二二	通二一	一機密 四六	機密七二	二二	四〇	一〇二	一〇一	三八	二〇五	二〇三	二〇〇	通四	四二	七二	九五	二〇一	通二〇	九四	九五	四六	
幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛	木村亜細亜局長より 在中國芳沢公使宛	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛	在暹春田中副領事より 幣原外務大臣宛	幣原外務大臣より 在奉天吉田総領事宛(電報)	在南京森岡領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在漢口高尾総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在漢口高尾総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在南京森岡領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在英國松井大使宛(電報)	幣原外務大臣より 在米國松平大使宛(電報)	幣原外務大臣より 在上海矢田総領事宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在漢口高尾総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在漢口高尾総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在米國松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	
協定税率および最惠国待遇に関する我方の見解について	上海における英國出兵反対運動について	滿蒙懸案解決に関する木村亜細亜局長と大藏滿鉄理事との協定事項	北京政府側協定税率および最惠国待遇の原則提示について(第四回會議議事要領)	關稅問題より惹いて最惠国待遇問題に議事を進めたい旨意見具申	英國の上海出兵に関する在本邦汪中國公使宛北京外交部電報について	中國側の事前の承認なしに帽兒山分館を開設する場合の要望事項稟請について	米國の上海中立化案は無視するとの陳友仁の談話について	米國の上海中立化案は無視するとの陳友仁の談話について	英國の上海出兵問題に関する交渉経緯につき陳友仁内話について	英國の上海出兵問題に関する交渉経緯につき陳友仁内話について	陳友仁より英國軍隊の上海上陸見合わせ方申出に関する英國公使の談話について	米國の上海中立提議は市外一定区域を含むとの情報について	陳友仁より英國軍隊の上海上陸見合わせ方申出に関する英國公使の談話について	國民政府のアグレンを後任総稅務司と認めぬ意向および北京政府の附加稅に関する大總統令實施中止の意向について	アグレンへの賜暇北京政府承認について	條約改正根本方針について關係省間の協議未了のため我方の對案提示差控え方訓令	英國の出兵に反對する中國各方面の狀況について	米國の上海中立案に反對する中國側の反応について	漢口英租界協定まもなく調印と英國公使談話について	米國の上海中立提案に反對する孫伝芳の申し出について	稅率協定の交渉に着手するを有利とするとの判断について	米國の上海中立化案に對する陳友仁の談話について	國務省の上海中立提案公表について	
795	452	124	792	791	451	71	852	450	449	448	447	447	851	851	789	445	445	444	404	788	443	403	443	443

三	五	五	三	五	五	五	五	三	五	五	五	五	五	五	五	五	五	九	
70	345	344	69	343	342	341	299	68	340	339	298	338	297	337	336	296	295	294	671
昭和2年3月4日	昭和2年3月(2)日	昭和2年2月(28)日	昭和2年2月28日	昭和2年2月25日	昭和2年2月(24)日	昭和2年2月(24)日	昭和2年2月24日	昭和2年2月(24)日	昭和2年2月23日	昭和2年2月(23)日	昭和2年2月(23)日	昭和2年2月22日	昭和2年2月22日	昭和2年2月21日	昭和2年2月21日	昭和2年2月(21)日	昭和2年2月20日	昭和2年2月(20)日	昭和2年2月18日
五四	一八四	一七二	二六	一六一	一五五	一四四	一三九	四五	一四二	一三九	一六	一三三	二二七	一三〇	一一五	一一一	一一二	一〇九	一一〇
幣原外務大臣宛(電報)	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事宛(電報)	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在漢口高尾総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在漢口高尾総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在漢口高尾総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在漢口高尾総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在漢口高尾総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國芳沢公使宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
附記 二月二十一日 在本邦英國大使館ピーターソン一等書記官の在上海英國兵力に 關する陳述	附記 二月十九日 漢口英租界に関する協定および交換公文	附記 二月二十一日 漢口英租界に関する中英協定内容につき陳友 仁の説明について	附記 二月二十一日 漢口英租界に関する中英協定調印について	附記 二月二十五日調 上海の事態平静に復帰し陸戦隊の上陸不必要 との判断上申について	附記 二月二十五日調 上海の事態平静に復帰し陸戦隊の上陸不必要 との判断上申について	附記 二月二十五日調 上海の事態平静に復帰し陸戦隊の上陸不必要 との判断上申について	附記 二月二十五日調 上海の事態平静に復帰し陸戦隊の上陸不必要 との判断上申について	附記 二月二十五日調 上海の事態平静に復帰し陸戦隊の上陸不必要 との判断上申について	附記 二月二十五日調 上海の事態平静に復帰し陸戦隊の上陸不必要 との判断上申について	附記 二月二十五日調 上海の事態平静に復帰し陸戦隊の上陸不必要 との判断上申について	附記 二月二十五日調 上海の事態平静に復帰し陸戦隊の上陸不必要 との判断上申について	附記 二月二十五日調 上海の事態平静に復帰し陸戦隊の上陸不必要 との判断上申について	附記 二月二十五日調 上海の事態平静に復帰し陸戦隊の上陸不必要 との判断上申について	附記 二月二十五日調 上海の事態平静に復帰し陸戦隊の上陸不必要 との判断上申について	附記 二月二十五日調 上海の事態平静に復帰し陸戦隊の上陸不必要 との判断上申について	附記 二月二十五日調 上海の事態平静に復帰し陸戦隊の上陸不必要 との判断上申について	附記 二月二十五日調 上海の事態平静に復帰し陸戦隊の上陸不必要 との判断上申について	附記 二月二十五日調 上海の事態平静に復帰し陸戦隊の上陸不必要 との判断上申について	附記 二月二十五日調 上海の事態平静に復帰し陸戦隊の上陸不必要 との判断上申について
130	462	461	129	460	458	457	457	416	456	415	414	455	414	454	453	411	406	404	853

昭和二年(一九二七)三月

五	五	三	五	五	五	五	五	五	八	五	五	八	五	三	五	三	二	二	三	二	三	三	三	
357	356	77	355	354	353	352	351	350	629	349	348	628	347	76	346	75	7	6	74	5	73	72	71	
昭和2年3月22日	昭和2年3月22日	昭和2年3月22日	昭和2年3月22日	昭和2年3月21日	昭和2年3月20日	昭和2年3月19日	昭和2年3月19日	昭和2年3月19日	昭和2年3月18日	昭和2年3月18日	昭和2年3月18日	昭和2年3月16日	昭和2年3月15日	昭和2年3月15日	昭和2年3月14日	昭和2年3月14日	昭和2年3月14日	昭和2年3月14日	昭和2年3月11日	昭和2年3月10日	昭和2年3月9日	昭和2年3月8日	昭和2年3月7日	
	二九六	二八二	二八五	二八四	二七七	二六九	二六五		二六九		二六三	通三〇		三三	二四二	三〇	機密一〇七	二二機密 二二五	六一	一三四	二八	二七	五六	
幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	
谷口在華日本紡績同業会委員長(在 大阪より)	在上海外務大臣宛(電報)	在上海外務大臣宛(電報)	在上海外務大臣宛(電報)	在上海外務大臣宛(電報)	在上海外務大臣宛(電報)	在上海外務大臣宛(電報)	在上海外務大臣宛(電報)	在上海外務大臣宛(電報)	在上海外務大臣宛(電報)	在上海外務大臣宛(電報)	在上海外務大臣宛(電報)	在上海外務大臣宛(電報)	在上海外務大臣宛(電報)	在上海外務大臣宛(電報)	在上海外務大臣宛(電報)	在上海外務大臣宛(電報)	在上海外務大臣宛(電報)	在上海外務大臣宛(電報)	在上海外務大臣宛(電報)	在上海外務大臣宛(電報)	在上海外務大臣宛(電報)	在上海外務大臣宛(電報)	在上海外務大臣宛(電報)	
陸戦隊の保護に謝意表明および総工 会の西部	上海罷工各部門の状況について	吉海鉄道問題解決策に関する張作相 との会談報告	罷工開始通達後の上海市況について	総工会の罷工開始について	革命軍の上海進入に呼応し祝賀デ モ等の準備進行について	内外綿第九工場食堂に於ける工人 殺害事件に關し総工会側要求提出につ いて	英国の兵力増強の目的などに関す る推測について	英大使に上海の状況はとくに憂慮す べき事態にあらずと談話について	中国側提案通商条約改訂文の全貌 について	在留邦人保護および総工会対策につ いて	共同租界内の秩序維持に關し工部 局に注意喚起について	最惠国約款に關する八箇条提案に 對する我方の見解表明について(第 九回會議議事要領)	上海情勢の悪化に對し在留邦人の 生命財産保護のため適當の処置請願 について	付加税はあくまで承認せず邦商が 抗議付納税をすることを前提とした 弁法を講究すべき旨の訓令	上海防備に關し英国と同調せざる 理由等山本代議士等に説明につ いて	直接中国側に警告を發し又は滿鉄 をして材料輸送を拒否せしめる等取 計方訓令	帽児山分館開設に關する意見具申 について	帽児山分館開設に關し田中副領事 へ注意事項内示について	付加税負担已むなしとすれば不法課 税を免がれるため海關での徴収を便 利とする旨の邦商の一致する意見 について	帽児山分館開設に關し田中副領事 へ注意事項内示について	吉海鉄道の材料運搬に關する中国 側の企画は滿鉄側にて阻止すべき旨 の旨木村亜細亜局長の回答につ いて	海關内の付加税徴収機關設置を設 容することは不可なる旨の訓令	吉海鉄道敷設材料の運搬を滿鉄に 許さざる旨中国側に通告するの権 限要請について	
471	471	135	471	470	470	469	467	466	802	465	465	798	464	135	463	134	134	74	73	133	72	132	131	130

六	六	六	六	六	六	六	六	六	五	六	六	三	六	六	六	六	五	五	五	五	三	七	三
416	415	414	413	412	411	410	409	408	362	407	406	80	404	403	402	401	361	360	359	538	79	520	78
昭和2年3月29日	昭和2年3月28日	昭和2年3月28日	昭和2年3月28日	昭和2年3月28日	昭和2年3月28日	昭和2年3月28日	昭和2年3月27日	昭和2年3月27日	昭和2年3月27日	昭和2年3月26日	昭和2年3月26日	昭和2年3月26日	昭和2年3月25日	昭和2年3月25日	昭和2年3月25日	昭和2年3月24日	昭和2年3月24日	昭和2年3月24日	昭和2年3月24日	昭和2年3月24日	昭和2年3月24日	昭和2年3月23日	昭和2年3月23日
三〇九	三六五	三一五	八九	一五二		三五三		三五二	三四七		八二	三六	七一	一〇七	三三三	三三〇	三一八	三一一	三〇七	三〇六		三九	六九
幣原外務大臣宛(電報)	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中国芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在上海矢田総領事宛(電報)	幣原外務大臣より 在中国芳沢公使宛(電報)		在南京森岡領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在南京森岡領事より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在上海矢田総領事宛(電報)	幣原外務大臣より 在奉天吉田総領事宛(電報)	幣原外務大臣より 在蕪湖藤村領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在米田松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在上海矢田総領事宛(電報)	幣原外務大臣より 在青島矢田部総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在奉天吉田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)
南京事件の要求条件等に関する日英米三国公使会議の顛末について	南京事件交渉相手は蒋介石とすることにラン プソン英国公使同意について	南京事件交渉相手は蒋介石とすることにラン プソン英国公使同意について	南京事件に際する在留邦人の無事避難に關し 森岡領事宛電について	南京事件交渉は英米両国と協同して行方方針 について	南京事件等に鑑み蒋介石総司令および武漢政 府に対する方針について	南京交渉員の着任および南京事件に対する遺 憾の意表明について	南京事件の迅速解決を黄郛に警告し且つ蔣介 石との会談申し入れについて	在留邦人駆逐艦に引揚げ同艦内に臨時領事 館事務所開設について	南京事件に対する処置を自発的に実施方間接 の方法にて蒋介石に勧告について	南京事件に對する迅速處理方勧告について	南京方面の形勢を考慮し軍艦派遣方海軍側と 協議について	南京事件の解決に全責任を負う故英米両国当 局に砲撃中止を伝達方蔣介石申出について	南京事件の解決に全責任を負う故英米両国当 局に砲撃中止を伝達方蔣介石申出について	南京事件の解決に全責任を負う故英米両国当 局に砲撃中止を伝達方蔣介石申出について	南京事件の解決に全責任を負う故英米両国当 局に砲撃中止を伝達方蔣介石申出について	南京事件の解決に全責任を負う故英米両国当 局に砲撃中止を伝達方蔣介石申出について	南京事件の解決に全責任を負う故英米両国当 局に砲撃中止を伝達方蔣介石申出について	南京事件の解決に全責任を負う故英米両国当 局に砲撃中止を伝達方蔣介石申出について	南京事件の解決に全責任を負う故英米両国当 局に砲撃中止を伝達方蔣介石申出について	南京事件の解決に全責任を負う故英米両国当 局に砲撃中止を伝達方蔣介石申出について	南京事件の解決に全責任を負う故英米両国当 局に砲撃中止を伝達方蔣介石申出について	南京事件の解決に全責任を負う故英米両国当 局に砲撃中止を伝達方蔣介石申出について	南京事件の解決に全責任を負う故英米両国当 局に砲撃中止を伝達方蔣介石申出について
524	523	523	522	521	519	519	518	518	475	517	516	140	514	514	513	513	474	474	474	473	138	676	137

六	429	昭和2年4月2日	四二七	幣原外務大臣宛(電報)	在上海矢田総領事より	547
六	428	昭和2年4月(2)日	四二二	幣原外務大臣宛(電報)	在上海矢田総領事より	546
六	427	昭和2年4月2日	一五八	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	在上海矢田総領事宛第一〇七号	545
六	426	昭和2年4月2日		幣原外務大臣 テイルー英国大使 会談	中国に対する強硬手段採択の効果等意見交換 について	542
六	425	昭和2年4月2日	三三二	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	南京事件要求条件修正に関する五国公使会議 の顛末について	540
五	375	昭和2年4月(2)日	三二五	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	北京の治安維持に関する外交団会議決につ いて	491
六	424	昭和2年4月(1)日	四〇七	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	南京事件後の時局に関する在上海ソ連邦総領 事との会談について	539
五	374	昭和2年4月1日	三三四	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	天津地方に日本軍三箇中隊増派の必要につ いて	490
五	373	昭和2年4月1日	三二六	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	華北治安維持に関し山海關の守備兵配置は必 要なしとの英、米公使の意見について	489
五	363	昭和2年4月(1)日	四〇五	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	共同租界行政に関する英国の態度に鑑み領事 団首席の辞意表明について	475

昭和二年(一九二七) 四月

六	423	昭和2年3月31日	九六	幣原外務大臣より 在上海矢田総領事宛(電報)	南京事件の早期解決に関し蒋介石に警告方訓 令について	532
六	422	昭和2年3月30日	三九八	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	蒋介石が南京事件解決に全責任を負う旨言明 について	531
六	421	昭和2年3月30日	三八七	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	国民革命軍代表の陳謝に対する森岡領事の強 硬態度表明について	530
六	420	昭和2年3月30日	一五四	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	共産派による蔣の失脚を避けるため南京事件 要求条件の緩和方について	529
三	81	昭和2年3月(3)日	三二二	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	東三省における付加税実施問題等に関する張 作霖との会談	141
六	419	昭和2年3月(2)日	三八一	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	蔣介石の南京事件に関する責任表明は困難な る旨の黄郛談話について	528
六	418	昭和2年3月(2)日	三七〇	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	南京事件は共産党の煽動であり南軍の暴行に 制裁を講ずるべきとの森岡領事の意見具申に ついて	527
六	417	昭和2年3月(2)日	三一六	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	南京事件に関する要求に仏伊両国公使も同意 について	526
				別電	三月二十九日着在中國芳沢公使より幣原外務大臣宛電報第三一〇号	526
					右要求条件に関する協定	

二 南京事件善後交渉経過要領

六	429	昭和2年4月2日	四二七	幣原外務大臣宛(電報)	在上海矢田総領事より	547
六	428	昭和2年4月(2)日	四二二	幣原外務大臣宛(電報)	在上海矢田総領事より	546
六	427	昭和2年4月2日	一五八	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	在上海矢田総領事宛第一〇七号	545
六	426	昭和2年4月2日		幣原外務大臣 テイルー英国大使 会談	中国に対する強硬手段採択の効果等意見交換 について	542
六	425	昭和2年4月2日	三三二	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	南京事件要求条件修正に関する五国公使会議 の顛末について	540
五	375	昭和2年4月(2)日	三二五	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	北京の治安維持に関する外交団会議決につ いて	491
六	424	昭和2年4月(1)日	四〇七	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	南京事件後の時局に関する在上海ソ連邦総領 事との会談について	539
五	374	昭和2年4月1日	三三四	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	天津地方に日本軍三箇中隊増派の必要につ いて	490
五	373	昭和2年4月1日	三二六	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	華北治安維持に関し山海關の守備兵配置は必 要なしとの英、米公使の意見について	489
五	363	昭和2年4月(1)日	四〇五	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	共同租界行政に関する英国の態度に鑑み領事 団首席の辞意表明について	475

三	六	六	六	五	七	六	六	六	六	六	六	六	三	二	六	六	六	一〇	六	六	五		
83	443	442	441	376	521	440	439	438	437	436	435	82	8	434	433	432	711	431	430	364			
昭和2年4月8日	昭和2年4月7日	昭和2年4月7日	昭和2年4月7日	昭和2年4月7日	昭和2年4月6日	昭和2年4月6日	昭和2年4月6日	昭和2年4月6日	昭和2年4月5日	昭和2年4月5日	昭和2年4月5日	昭和2年4月(5)日	昭和2年4月5日	昭和2年4月4日	昭和2年4月4日	昭和2年4月4日	昭和2年4月(3)日	昭和2年4月3日	昭和2年4月(3)日	昭和2年4月(3)日			
八四	四八四ノ二	三七六	一七五	三七四	三七	一八五	一七〇	一六八	四六七	四六七	三五七	七八	四八	一六五	三四一	一六九	四四二	四三〇	四四一	四四一			
在奉天吉田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中国芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國芳沢公使宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在青島矢田部総領事宛(電報)	在漢口高尾総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在中国芳沢公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在中国芳沢公使宛(電報)	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在安東岡田領事より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在中国芳沢公使宛(電報)	幣原外務大臣 テイリリー英国大使 会談	在ソ連邦田中大使より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)			
別電 四月六日付幣原外務大臣より 在本邦英国大使持参の新提案	中国側への南京事件要求通牒発出方に関する 五国公使会議について	中国側への南京事件要求通牒発出方に関する 五国公使会議について	中国問題に関するカラハン外務人民委員代理 の談話について	四国公使は南京事件要求条件提出延期に反対 について	蔣介石が列国側の南京事件要求条件を容認し ない場合の制裁手段に關し日本の立場表明に ついて	列国の意見纏まり次第南京事件に關する抗議 を上海および漢口に於て同時に提出方につい て	帽児山分館敷地買収形式について	付属地内の借地権、転売権に關する中国人、 その他外国人への制限を除去すべき旨の意見 具申	南京事件要求条件提出に關する四国公使との 会談報告	南京事件要求条件提出に關する四国公使との 会談報告	南京事件要求条件提出に關する四国公使との 会談報告	南京事件要求条件提出に關する四国公使との 会談報告	南京事件要求条件提出に關する四国公使との 会談報告	南京事件要求条件提出に關する四国公使との 会談報告	南京事件要求条件提出に關する四国公使との 会談報告	南京事件要求条件提出に關する四国公使との 会談報告	南京事件要求条件提出に關する四国公使との 会談報告	南京事件要求条件提出に關する四国公使との 会談報告	南京事件要求条件提出に關する四国公使との 会談報告	南京事件要求条件提出に關する四国公使との 会談報告			
143	568	567	567	566	491	677	565	565	563	556	555	555	554	553	143	76	552	551	550	905	549	548	476

五	一〇	一〇	七	六	六	六	六	三		八	六	五	五	七	六	七	六	六	五	五			
381	713	712	524	451	450	449	448	84		630	447	380	379	523	446	522	445	444	378	377			
昭和2年4月12日	昭和2年4月11日	昭和2年4月11日	昭和2年4月11日	昭和2年4月11日	昭和2年4月11日	昭和2年4月11日	昭和2年4月11日	昭和2年4月11日		昭和2年4月10日	昭和2年4月10日	昭和2年4月10日	昭和2年4月10日	昭和2年4月9日	昭和2年4月9日	昭和2年4月8日	昭和2年4月8日	昭和2年4月8日	昭和2年4月8日	昭和2年4月8日			
一九五	一三〇		一五	一二六		五四九	四〇一	八九		通四五	五二四	三九六		三八六	五七	二四八	一七九	三八四	三八三				
幣原外務大臣より 在中国芳沢公使宛(電報)	在仏国石井大使より 幣原外務大臣宛(電報)		幣原外務大臣より 在濟南藤田総領事宛(電報)	在米國松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)		在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中国芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)		在中国芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海矢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中国芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	高岡濟南居留民団行政委員会より 幣原外務大臣宛(電報)	別電 四月九日着在中國芳沢公使より幣原外務大臣宛第一八七号 上海及び漢口宛右要求条件電訓案	在濟南藤田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	第一遣外艦隊司令官より 大角海軍次官、原軍令部次長宛(電報)	幣原外務大臣より 在中国芳沢公使宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)			
第九駆逐隊を第一遣外艦隊に編入し 關東州および華北沿岸の警備担任方について	中国時局対策に関するレジエ亜細亜局長の談話について	在北京ソ連邦大使館搜索事件および中国の現況について	在南京方面に留邦人引揚げの際の措置方について	南京事件要求に中国が応じない場合關係国出先海軍官憲の協議実施方について	南京事件要求を白崇禧へ手交について	南京事件要求する五国政府の国民政府に対する抗議について	南京事件に関する國民政府宛申入れは共同通牒となすことに五国公使同意表明について	銷場税を撤回する代わりに付加税に関する日本側の承認を求める旨の中国側の申入れについて	二 四月十日付在中國芳沢公使より幣原外務大臣宛通第四七号 日本側提案	最惠国約款に関する日中専門家会合議事要領について	南京事件に關し蔣介石に対する好意的措置につき黃郛の感謝について	天津地方に留邦人の生命財産保護のため我が駐屯軍増員方切望について	徐州方面の戦乱に鑑み留邦人保護のため至急派兵方について	京津地方に留邦人の保護に外國兵力不十分の旨各國代表意見一致について	北軍の敗北により濟南に留邦人約二千総引揚の可能性あり政府の方針稟請について	南京事件要求条件に關する四國公使との協議について	南京事件要求不遂行の際執るべき軍事手段に關する日英米の協議について	南京事件要求は各國同文通牒とすべき旨訓令	列國軍司令官會議において天津警備の強化を決議について	日本軍を含め京津駐在外國軍隊倍増の必要について			
495	916	908	679	580	577	575	575	574	573	144	805	803	573	494	493	679	572	572	677	571	570	493	492

七	七	六	二	七	六	五	三	六	六	一〇	六	六	六	六	六	五	三	六	六	
527	526	462	9	525	461	365	86	460	459	714	458	457	456	455	454	382	85	453	452	
昭和2年4月20日	昭和2年4月19日	昭和2年4月19日	昭和2年4月19日	昭和2年4月16日	昭和2年4月16日	昭和2年4月16日	昭和2年4月16日	昭和2年4月15日	昭和2年4月15日	昭和2年4月14日	昭和2年4月14日	昭和2年4月14日	昭和2年4月13日	昭和2年4月13日	昭和2年4月13日	昭和2年4月13日	昭和2年4月13日	昭和2年4月12日	昭和2年4月12日	
六六	七三	四五四	一〇六	四〇	一七八	六〇二	四三四	四三四	四二六	機密公九五	四二六	二〇三	五六三	二六四番電	一九九	同文三	四六	四一八	五五七	
在濟南藤田總領事より 田中外務大臣宛(電報)	在青島矢田部總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天吉田總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在青島矢田部總領事宛(電報)	幣原外務大臣より 在上海矢田總領事宛(電報)	幣原外務大臣より 在上海矢田總領事宛(電報)	別電一 四月十五日付在中國芳沢公使より 國民政府に対する第二次通牒案 二 四月十六日付在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛第四三六号 國民政府に対する第二次通牒及び聲明案	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在滿州里田中領事より 幣原外務大臣宛	在中國芳沢公使より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	別電 四月十三日付在上海矢田總領事より 幣原外務大臣宛第五六五号 國民政府の対日方針に関する聲明案	海軍省左近司軍務局長より 第一遣外艦隊司令官宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在天津行政委員会白井会長より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在奉天吉田總領事宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在上海矢田總領事宛(電報)	
濟南附近の情勢安定し現在のところ留邦人引揚げの必要なしと認めらるる情勢について	濟南及び沿線各地の在留邦人引揚者收容方について	南京事件要求貫徹のための制裁措置に関する英國政府提案について	南京事件要求貫徹のための制裁措置に関する英國政府提案について	交渉に先立ち田中副領事の帽児山乗込み決行方について	濟南地方在留邦人の青島への避難および保護について	日本陸戦隊の防禦線未成立に英總領事抗議申し出について	滿州及び北支の警備方法に関する外務陸軍係官會議要領	武漢政府の回答に関する五国会議の議事について	南京事件要求に対する武漢政府回答およびその経緯について高尾總領事の報告	在北京ソ連邦大使館搜索事件後の地方現況について	南京事件要求に関する武瀆政府回答およびその経緯について高尾總領事の報告	南京事件要求に関する武瀆政府回答およびその経緯について高尾總領事の報告	南京事件要求に関する武瀆政府回答およびその経緯について高尾總領事の報告	南京事件要求に関する武瀆政府回答およびその経緯について高尾總領事の報告	南京事件要求に関する武瀆政府回答およびその経緯について高尾總領事の報告	南京事件要求に関する武瀆政府回答およびその経緯について高尾總領事の報告	南京事件要求に関する武瀆政府回答およびその経緯について高尾總領事の報告	南京事件要求に関する武瀆政府回答およびその経緯について高尾總領事の報告	南京事件要求に関する武瀆政府回答およびその経緯について高尾總領事の報告	南京事件要求に関する武瀆政府回答およびその経緯について高尾總領事の報告
682	680	599	599	76	680	597	477	145	595	594	594	587	586	583	582	495	145	582	581	

三	87	昭和2年4月21日	一〇八	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	彰武・白音太拉間の工事中止方に関し安国軍 総司令張作霖宛警告について	149
三	88	昭和2年4月21日		在奉天吉田総領事より 木村重細重局長宛	滿州経営は日本の国力を以て遂行すべき旨閣 東長官に意見陳述について	149
五	366	昭和2年4月21日	謀報機密 三六七	在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛	第三次上海総同盟罷工状況について	478
五	383	昭和2年4月21日	四六四	在中国芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	ソ連大使館の警備について	496
六	463	昭和2年4月21日	二一六	田中外務大臣より 在中国芳沢公使宛(電報)	南京事件要求貫徹のための制裁措置に関する 英国政府の覚書提出および撤回について	600
六	464	昭和2年4月21日	四六一	在中国芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	武漢政府に対する第二次通牒案を至急承認方 について	600
五	384	昭和2年4月20日	四六七	在中国芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	英国の居留民撤退計画について	496
六	465	昭和2年4月22日	四六八	在中国芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	米国の居留民撤退計画について	601
六	466	昭和2年4月22日	四七二	別電一 四月二十二日付在中國芳沢公使より田中外務大臣宛第四六九号 在中國米國公使に対する右米國政府の訓電	米國政府の対武漢政府共同通牒不参加をめぐ る四國公使會議について	602
六	467	昭和2年4月22日	四七二	在中國芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	五國公使會議にて米國を除く四國は武漢政府 第二次通牒承認の意向について	603
六	468	昭和2年4月22日	六四二	在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	田中新内閣の中國政策に関する郭交渉員の質 疑について	604
八	631	昭和2年4月22日	二一九	田中外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	仏國臨時代理大使による南京事件第二次通牒 案に対する仏國側意見表明について	605
八	632	昭和2年4月22日	通五四	在中國芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	外交部より條約改訂期間延長に関する公文持 参について	805
八	632	昭和2年4月22日	通一〇	付記 顧外交総長より在中國芳沢公使宛右公文 田中外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	條約改訂期間延長に関する我方回答案につい て	806
三	89	昭和2年4月23日		別電 四月二十二日付田中外務大臣より在中國芳沢公使宛通第一一号 條約改訂期間延長に関する日本側回答案		807
六	469	昭和2年4月23日	二二一	兒玉閣東長官より 田中外務大臣宛(電報)	東三省現状維持の方針について	150
六	470	昭和2年4月23日	一九二	田中外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	南京事件第二次通牒案修正提議方について	606
六	471	昭和2年4月25日	一三八	田中外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	南京事件列國共同交渉の協調立直しを米國側 に説得方について	610
三	90	昭和2年4月26日	四八三	田中外務大臣宛(電報)	南京事件交渉における列國協調の維持を米國 務長官に申し入れについて	610
六	472	昭和2年4月26日	四八〇	田中外務大臣宛(電報)	大連海關に海關監督設置の意向中國側より申 入れについて	151
六	473	昭和2年4月26日	四八六	田中外務大臣宛(電報)	武漢政府に対する南京事件第二次通牒案修正 および聲明案に関する五國公使會議について	611
六	474	昭和2年4月26日	二三〇	田中外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	五國公使會議における南京事件要求に関する 聲明書案可決について	613
六	474	昭和2年4月26日	二三〇	田中外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	南京事件要求に関する五國聲明書案について	613

六	475	昭和2年4月27日	一九七	田中外務大臣より 在米國松平大使宛(電報)	武漢政府に対する南京事件第二次通牒発出に 関し米國務長官説得方について	614
六	476	昭和2年4月27日	一四六	田中外務大臣宛(電報)	米國務長官が武漢政府に対する南京事件第二 次通牒発出に不同意について	615
六	477	昭和2年4月28日	二三七	田中外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	武漢政府への南京事件第二次通牒は米國を加 えた五國協調のうえ発出すべき意向について	615
三	91	昭和2年4月29日	四九五	田中外務大臣宛(電報)	大連海關監督設置の中國側申入れを拒絶すべ き旨の意見具申	151
六	478	昭和2年4月29日	五〇三	在中國芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	武漢政府あて南京事件第二次通牒を四國限り で発出の際の条件について	617
六	479	昭和2年4月29日	一一三	在英國松井大使より 田中外務大臣宛(電報)	南京事件に対する制裁問題等につきチェンバ レン英外相と会談について	618
二	10	昭和2年4月30日	一一二	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	現地乗込み開館を執行すべき旨の意見具申に ついて	77
三	92	昭和2年4月30日	二四二	田中外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	大連海關監督設置の中國側申入れを拒絶すべ き旨の訓令	152
六	480	昭和2年4月30日		出淵外務次官 テイリリー英國大使 会談	武漢政府に対する南京事件第二次通牒文発出 をめぐる日本の態度につき英國大使不満の意 表明について	619
六	481	昭和2年4月30日	六八二	在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	國民政府より南京において公務開始の旨申越 について	620
一〇	715	昭和2年4月30日		田中外務大臣 ド・ピリー仏國大使 会談	對中國政策について	919

昭和二年(一九二七)五月

六	482	昭和2年5月1日	二四五	田中外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	南京事件に關し四國限りの第二次通牒発出見 送りについて	620
六	483	昭和2年5月1日	二〇一	田中外務大臣より 在米國松平大使宛(電報)	米國政府に對し列國協調に關し再考慮方要請 について	621
二	11	昭和2年5月2日	四四	田中外務大臣より 在安東岡田領事宛(電報)	直ちに帽児山分館の開館を實行すべき旨の訓 令	77
二	12	昭和2年5月3日	七六	在安東岡田領事より 田中外務大臣宛(電報)	帽児山乗込み遅延理由についての田中副領事 報告	78
六	434	昭和2年5月3日	一四九	在米國松平大使より 田中外務大臣宛(電報)	南京事件解決交渉は列國協調の必要を認むる も第二次通牒発出には反對の旨米國務長官の 意向表明について	622
六	485	昭和2年5月3日	二四五	在漢口高尾総領事より 田中外務大臣宛(電報)	陳友仁が南京事件に關する共同調査の必要を 主張について	623
一〇	716	昭和2年5月3日		田中外務大臣 テイリリー英國大使 会談	對中國政策における日英協力について	920
三	93	昭和2年5月4日	五七	田中外務大臣より 在奉天吉田総領事宛(電報)	彰武・白音太拉間の工事に對し抗議を提出す るに止めるべき旨の訓令について	152
三	94	昭和2年5月4日	一三〇	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	打通線工事年内開通の模様につき至急回訓方 督促について	153
三	95	昭和2年5月4日	機密四五三	在中國芳沢公使より 田中外務大臣宛	大連海關監督設置に關する中國側公文および 日本側回答書送付について	153

日付索引

日付索引

三	三	三	八	六	三	三	六	三	五	二	八	六	三	六	六	三	二	六	六	六		
103	102	101	634	493	100	99	492	98	385	15	633	491	97	490	489	96	14	13	488	487	486	
昭和2年5月13日	昭和2年5月13日	昭和2年5月12日	昭和2年5月11日	昭和2年5月11日	昭和2年5月11日	昭和2年5月11日	昭和2年5月10日	昭和2年5月10日	昭和2年5月9日	昭和2年5月9日	昭和2年5月(7)日	昭和2年5月7日	昭和2年5月7日	昭和2年5月6日	昭和2年5月5日	昭和2年5月5日	昭和2年5月5日	昭和2年5月5日	昭和2年5月4日	昭和2年5月4日	昭和2年5月4日	
一四一	一四〇		通一六	一三四		五三七	二六五	六一	七八	一三八	通六四	五三三	二六四	七一一	合一四五	二五二	公二五九	一三四	一五一	一五〇	五一九	
田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	大藏満鉄本社理事より 満鉄東京支社長宛(電報)	田中外務大臣より 在中国芳沢公使宛(電報)	在英国松井大使より 田中外務大臣宛(電報)	木村亜細亜局長より 大藏満鉄本社理事宛(電報)	在中国芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣より 在中国芳沢公使宛(電報)	田中外務大臣より 在奉天吉田総領事宛(電報)	田中外務大臣より 在天津加藤総領事宛(電報)	田中外務大臣より 在奉天吉田総領事宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣より 在中国松井大使宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	
在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	大藏満鉄本社理事より 満鉄東京支社長宛(電報)	田中外務大臣より 在中国芳沢公使宛(電報)	在英国松井大使より 田中外務大臣宛(電報)	木村亜細亜局長より 大藏満鉄本社理事宛(電報)	在中国芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣より 在中国芳沢公使宛(電報)	田中外務大臣より 在奉天吉田総領事宛(電報)	田中外務大臣より 在天津加藤総領事宛(電報)	田中外務大臣より 在奉天吉田総領事宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣より 在中国松井大使宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	
打通線問題に関する芳沢公使の意見に対し従 来の態度を維持すべきこと肝要なりとの意見 具申	吉海鉄道抗議撤回は民間交渉によらず日本政 府の決定を俟つべき旨回電について	吉海鉄道に関する吉林側との交渉打切りにつ いて	関税に関する無条件最惠国約款を認める旨の 中国側の言明を議事録に記載の上個別事項の 討議に入るべき旨訓令について	英国外相下院にて武漢政府への第二次通牒発 出取止めの事情説明について	吉海鉄道に関する吉林側との交渉打切り要請 について	打通線問題に関し対満政策の全局より意見具 申について	南京事件解決交渉は五国協調によるべきで南 京政府を相手とする単独交渉は慎重考量を要 することについて	第九駆逐隊の天津引揚について	吉海鉄道に対する抗議撤回と交換的に長大線 建設を促進する満鉄案照会について	田中副領事に帽児山分館乗込みを厳命すべき 意見具申について	田中副領事に帽児山分館乗込みを厳命すべき 意見具申について	日本側最惠国約款の無条件主義に関し見解表 明について(第十九回会議議事要領)	南京事件処理の単独交渉は南京政府を相手と すべき意見具申について	彰武・白音太拉線工事に対する張作霖宛抗議 文写送付について	今後の南京事件処理方法に関し伍朝枢等と会 談について	武漢政府に対する第二次通牒問題等に関する 英国大使との会談について	打通線問題に関する大藏満鉄理事との電報往 復について	奉天交渉員よりの帽児山分館設置中止ありた い旨の照会及び我方の分館設置の根拠目的等 を述べた回答について	莫省長に対する帽児山分館開設の交渉は朝鮮 總督府の保護同意取付けによる乗込み決行後 とする意向について	南京事件の制裁取止めなどに関する英国の通 告につき米国極東部長との会談報告	米国大統領が武漢政府に対する南京事件第二 次通牒発出に反対の意向表明について	英国政府对中国制裁の不実施を表明について
161	160	159	810	632	159	158	631	157	497	82	807	629	157	628	626	156	80	79	626	625	625	624

一〇	718	昭和2年5月26日	七八一	在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣より 在濟南藤田総領事宛(電報)	南京・武漢両政府との関係および日英協力について	922
八	635	昭和2年5月14日	通六八	在中国芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	顧外交総長による関税に関する無条件最惠国約款拒否について	811	
八	636	昭和2年5月15日	通六九	在中国芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	外交部より通商条約案提示について	813	
二	16	昭和2年5月16日	二七五	田中外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	別電 五月十五日着在中國芳沢公使より田中外務大臣宛通第七〇号 中国側の条約草案	813	
二	17	昭和2年5月16日	六四	田中外務大臣より 在奉天吉田総領事宛(電報)	帽児山分館設置は条約上中国側の同意を要する筋合に非ざる旨申し入れ方について	83	
二	18	昭和2年5月17日	五五七	在中國芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	朝鮮総督府側と協議の後田中副領事又は他の館員をして即時帽児山分館の開設を実施すべき旨訓令	83	
二	19	昭和2年5月17日	九五	在安東岡田領事より 田中外務大臣宛(電報)	帽児山分館乗込みの日取確定後中国側に一方の通告を行き意向について	84	
三	104	昭和2年5月18日	庶秘五三	大藏滿鉄本社理事より 木村亜細亜局長宛	帽児山分館乗込み援助に関する吉田総領事と朝鮮総督府との協議について	84	
五	386	昭和2年5月19日	五六四	在中國芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	吉海鉄道および長扶鉄道について	161	
三	105	昭和2年5月20日	六七	田中外務大臣より 在奉天吉田総領事宛(電報)	華北における五国軍隊の現在兵数および将来の増兵計画について	497	
二	20	昭和2年5月23日	一〇四	在安東岡田領事より 田中外務大臣宛(電報)	滿蒙懸案解決案に関する中国側意向の確認についての訓令	164	
五	387	昭和2年5月25日	五八一	在中國芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	帽児山分館開設に非常手段を用いることの悪影響についての田中副領事の意見	85	
七	528	昭和2年5月25日	二二	田中外務大臣より 在濟南藤田総領事宛(電報)	華北に動乱波及の際南北双方に警告發出について	498	
一〇	718	昭和2年5月26日	七八一	在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	濟南在留邦人中婦女子の青島引揚げについて	683	
二	21	昭和2年5月26日	合八	在安東岡田領事より 田中外務大臣宛(電報)	付 記一 濟南方面居留民保護について 二 濟南方面派兵について 三 青島方面軍艦増派について 四 京津地方増兵について	684	
五	388	昭和2年5月26日	五八五	在中國芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	北伐の最終地点は徐州と蔣介石言明について	686	
六	494	昭和2年5月26日	三六四	田中外務大臣より 在上海矢田総領事宛(電報)	田中副領事の帽児山分館乗込み決行について	686	
七	529	昭和2年5月26日	九二	在濟南藤田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	の芝崎副領事報告	685	
八	637	昭和2年5月26日	通七四	在中國芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	緊急事態発生の際の日本の措置に関し英国側不満表明について	684	
五	389	昭和2年5月27日	五八九	在中國芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	伍朝枢外交部長と松井少将の南京事件に関する会談内容について	499	
七	530	昭和2年5月27日	五八	田中外務大臣より 在青島矢田部総領事宛(電報)	濟南在留邦人婦女子の青島への避難実行時期について	633	
				別電一 五月二十七日付田中外務大臣より在青島矢田部総領事宛第一六二号 出兵に関する閣議決定(甲号)	顧外交総長最惠国約款に関する談話表明について	686	
					英國代理公使英國軍の北京および鉄道沿線よりの撤兵を示唆について	500	
					山東出兵およびこれに伴う措置について	814	

二	27	昭和2年5月31日	機密五五六	在中國芳沢公使より 田中外務大臣宛	付属書 五月三十一日付在中國芳沢公使より在安東岡田領事宛機密第五号 第二次外交部宛通告覚書写について	89
二	26	昭和2年5月31日	一一七	在安東岡田領事より 田中外務大臣宛(電報)	武力を用いて帽児山分館に乘込む場合の処置 について芝崎副領事の意見具申	88
六	495	昭和2年5月30日	七九六	在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	別電 五月三十日付在上海矢田総領事より田中外務大臣宛第七九七号 南京事件に関する南京政府の声明案	634
五	368	昭和2年5月30日	八〇一	在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	伍朝枢外交部長より提示された南京政府の南京事件解決に関する声明案について	633
二	25	昭和2年5月30日	一一三	在安東岡田領事より 田中外務大臣宛(電報)	五・三〇記念日の状況報告について	482
二	24	昭和2年5月30日	一一〇	在安東岡田領事より 田中外務大臣宛(電報)	帽児山分館武力乘込み断行に関する今後の処 置振り芝崎副領事より請訓について	88
二	23	昭和2年5月30日	合一〇	在安東岡田領事より 田中外務大臣宛(電報)	帽児山分館乗込みに対する中国側の妨害状況 についての田中副領事報告	87
二	22	昭和2年5月29日	四	在中江鎮田中分館主任より 田中外務大臣宛(電報)	田中副領事帽児山分館着任報告	86
一〇	719	昭和2年5月28日	三〇〇	田中外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	チェンバレン英国外相のメッセージに対する 応答について	926
七	535	昭和2年5月28日	合二六六	田中外務大臣より 在米岡松平大使、在中國芳沢公使、 森田各総領事宛(電報)	付記一 五月二十八日陸軍省公表 青島方面派遣兵力について 右同日参謀総長通報 在満州歩兵第三十三旅団の青島派遣について	698 699 699
七	534	昭和2年5月28日	二二〇	田中外務大臣 英・米両国臨時代理大使	付属書 華中方面における戦況概要	696
五	367	昭和2年5月28日	一六四	在英國岡松平大使より 田中外務大臣宛(電報)	對中国出兵に関する極東部長の内話について	481
七	533	昭和2年5月27日	合一六五	田中外務大臣より 在上海矢田、在広東森田各 総領事宛(電報)	ケロッグ米國務長官に山東出兵決定の経緯説 明方について	694
七	532	昭和2年5月27日	二九五	田中外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	山東出兵および華北増兵の実施予定について	692
七	531	昭和2年5月27日	二九五	田中外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	五月二十七日付田中外務大臣より在中國芳沢公使、在青島矢田部総 領事宛合第一六三号 出兵に関する声明書(乙号)	689
					五月二十七日付田中外務大臣より在中國芳沢公使、在青島矢田部総 領事宛合第一六四号 濟南方面派遣軍の行動について(丙号)	690
					付記 五月二十六日総理官邸における濟南派兵に関する協定事項	691

七	七	昭和2年5月31日	二六	田中外務大臣より 在濟南藤田総領事宛(電報)	濟南在留邦人婦女子引揚げの実行時機および 方法は総領事の裁量に一任について	699
七	七	昭和2年5月31日	一〇一	在濟南藤田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	林省長濟南への日本軍出兵に反対の意向表明 について	700

昭和二年(一九二七)六月

二	二	昭和2年6月1日	七八	田中外務大臣より 在奉天吉田総領事宛(電報)	帽児山分館開設のための自衛手段を取る以前 に奉天側官憲の反省をうながすよう交渉方訓 令	90
六	六	昭和2年6月1日	三〇六	田中外務大臣より 在中国芳沢公使宛(電報)	南京政府声明案に関し四国代表者を誘導して 解決の気運醸成方について	635
六	六	昭和2年6月1日	二七二	田中外務大臣より 在上海矢田総領事宛(電報)	南京政府声明案に対する我方の修正点につい て	635
三	三	昭和2年6月2日	三二二	田中外務大臣より 在中国芳沢公使宛(電報)	張作霖敗退の場合の対策につき意見具申方 について	164
五	五	昭和2年6月(2)日	八一	田中外務大臣宛(電報)	日本公使および在留邦人の北京引揚げはあり 得ざる旨ランブソン英公使に談話について	501
六	六	昭和2年6月2日	六一六	田中外務大臣宛(電報)	南京政府声明案に関する五国公使会議審議状 況について	636
六	六	昭和2年6月2日	八一〇	田中外務大臣宛(電報)	英公使が南京事件に関する伍朝枢との非公式 交渉につき内談について	637
二	二	昭和2年6月3日	機密公 三三〇	田中外務大臣宛(電報)	帽児山分館開設問題に関する交渉員との往復 書簡送付	91
六	六	昭和2年6月3日	八二三	田中外務大臣宛(電報)	英米仏三国の南京政府との接触状況について	638
七	七	昭和2年6月(3)日	一一〇	田中外務大臣宛(電報)	日本の山東出兵兵力は二千にては不足との張 督弁意見表明について	702

日付索引

七	七	昭和2年6月3日	六二	田中外務大臣より 在青島矢田部総領事宛(電報)	濟南への出動実施の時機につき迅速に意見上 申方について藤田総領事宛訓令	703
二	二	昭和2年6月4日	一五五	田中外務大臣宛(電報)	帽児山分館開設に関する奉天省長および交渉 員との交渉結果について	92
三	三	昭和2年6月4日	一四	児玉閣東長官より 田中外務大臣宛(電報)	打通、吉海両線の敷設工事を中止せしめる手 段を採るべき意見具申について	165
五	五	昭和2年6月4日	三九一	昭和2年6月4日	列国軍司令官会議事録	502
六	六	昭和2年6月4日	八二四	在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	南京政府声明案の修正に関する伍朝枢との会 見結果について	638
一〇	一〇	昭和2年6月(4)日	二八六	在ソ連邦田中大使より 田中外務大臣宛(電報)	中国の国民運動に対しカラハン同情表明につ いて	931
六	六	昭和2年6月6日	三一八	田中外務大臣より 在中国芳沢公使宛(電報)	南京事件解決のため南京政府と交渉方英国大 使談話について	640
七	七	昭和2年6月6日	三三二	田中外務大臣より 在濟南藤田総領事宛(電報)	濟南在留邦人避難は大袈裟にならざる様心得 方について	704
二	二	昭和2年6月7日	三三〇	田中外務大臣より 在中国芳沢公使宛(電報)	帽児山分館開設問題につき楊宇霆等中央政府 と懇談方訓令	93
七	七	昭和2年6月(7)日	一一二	在濟南藤田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	北方軍閥の動向に関する情報について	704
三	三	昭和2年6月8日	一五八	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	滿蒙懸案解決に関する楊宇霆の意見について	166
五	五	昭和2年6月8日	六五一	田中外務大臣宛(電報)	中国軍包囲の際公使館および守備軍撤退の方 針との米公使談話について	505
六	六	昭和2年6月8日	六五〇	田中外務大臣宛(電報)	南京事件解決に関する英国公使との会談につ いて	640
七	七	昭和2年6月8日	二八二	田中外務大臣より 在上海矢田総領事宛(電報)	田中総理の袁良への談話内容について	705

六	七	七	二	七	六	六	五	五	五	七	二	二	二	六	五	三	三	二	二	五	三	二	
507	546	545	38	544	506	505	397	396	395	543	37	36	35	504	394	111	110	34	33	393	109	32	
昭和2年6月16日	昭和2年6月15日	昭和2年6月(15)日	昭和2年6月(15)日	昭和2年6月(14)日	昭和2年6月14日	昭和2年6月14日	昭和2年6月14日	昭和2年6月14日	昭和2年6月(14)日	昭和2年6月13日	昭和2年6月13日	昭和2年6月(12)日	昭和2年6月11日	昭和2年6月10日	昭和2年6月10日	昭和2年6月(10)日	昭和2年6月(10)日	昭和2年6月10日	昭和2年6月10日	昭和2年6月9日	昭和2年6月(9)日	昭和2年6月9日	
六八八	一四〇	一四一	一六九	八六一	三二九	六八一	機密三六六	公六〇三	六七七	二八七	八三	一六五	六七三	六五八	六六九	一六一	一六三	一六三	六六八	六五三	一五六	一六二	
田中外務大臣宛(電報)	在濟南藤田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在青島矢田部総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在上海矢田部総領事より 田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣より 田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	在天津加藤総領事より 田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	
在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	
帽児山分館開設問題に 関する奉天省長および楊宇 霆との交渉はこれ以上無益と 思われるとの意見具申につ いて	北軍敗退後の対張作霖政策 について	満州の治安維持に關して積 極策採用方意見具申につ いて	香港より英旅団到着まで北 京・揚村間の守備を日本側 にて引受け方ダンカン少将 より依頼について	五国公使會議にて英国公使 が南京政府との非公式交渉 状況報告について	暴民を取締り帽児山分館を 開設し得るよう該所地方官 に電訓方奉天省長に依頼電 報せる報告	打通線、海吉線抗議を帽児 山分館問題に結び付け報復 措置を取る事たるべき旨の 意見具申	山東出兵と關連し蔣介石の 今後の意図探索方について	綏遠区内の官衙、商店に青 天白日旗掲揚等の在張家口 領事よりの情報について	米国軍隊の増遣に対する北 京政府の抗議について	各国の天津増兵に対し交渉 員より抗議提出について	帽児山分館開設問題に關し 直ちに報復措置を取らざる よう訓令	英公使が南京事件解決は慎 重に行うべしとの本國政府 の方針談話について	日本政府は英国側の南京政 府との非公式交渉に異議なき 旨回訓について	濟南進兵の見込等に關する 黄郭及び郭交渉員の談話につ いて	帽児山分館開設問題等に關 する莫省長との会谈結果報告	孫軍の進出に伴う我軍の濟 南進兵の必要性について	孫軍敗北に伴う坊子濟南へ の出兵は慎重を要する旨意見 具申について	英国公使が五国公使會議に ついて	南京事件対応方針表明につ いて
645	709	708	97	707	644	644	509	508	507	507	706	96	94	643	641	506	171	168	94	93	506	166	93

九	七	七	七	七	七	六	一〇	九	七	七	一	七	七	七	七	七	七	七	七	七			
673	563	562	561	560	559	508	721	672	558	557	1	556	555	554	553	552	551	550	549	548	547		
昭和2年6月30日	昭和2年6月27日	昭和2年6月29日	昭和2年6月29日	昭和2年6月25日	昭和2年6月24日	昭和2年6月24日	昭和2年6月23日	昭和2年6月29日	昭和2年6月23日	昭和2年6月22日	昭和2年6月21日 7月7日	昭和2年6月20日	昭和2年6月19日	昭和2年6月19日	昭和2年6月17日	昭和2年6月17日	昭和2年6月17日	昭和2年6月16日	昭和2年6月16日	昭和2年6月16日	昭和2年6月16日		
九一七	一一	一六一	一六〇	一七七	七二五	七二三	合一七七	七一一	八九一	一五三		三五九	同文六	八八一	六九〇		一四五	三六	七〇	八六七	一四四		
田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)		
在上海清水総領事代理より	在坊子福士書記生宛(電報)	在濟南藤田総領事より	在濟南藤田総領事より	在廣東森田総領事より	在中國堀臨時代理公使より	在中國堀臨時代理公使より	田中外務大臣より 在ソ連邦田中大使、在中國芳沢公使宛(電報)	在中國堀臨時代理公使より	在上海清水総領事代理より	在濟南藤田総領事より	田中外務大臣宛(電報)	平岡青島居留民団行政委員会、鈴木青島商業會議所会頭より	別電 六月十九日付在上海清水総領事代理より 右抗議文内容	在中國堀臨時代理公使より	在中國堀臨時代理公使より	關議決定	在青島矢田部総領事より	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)		
南京国民政府の裁釐課税実施決議について	坊子付近の在留邦人保護について	我が軍輸送列車等の準備および在留邦人の派兵請願について	膠濟沿線の治安良好なるも万一の際天津よりの派兵考慮方について	解船営業組合の日貨積下し停止宣言について	英國公使との排日排英ホイコットに関する対応策協議について	南京事件交渉其の後の経過につき英國公使内話について	日ソ兩國の滿州に於ける協調に關しソ連邦大使と會談について	關稅自主權回復および付加税実施についての我方立場を明確にしておく方が得策である旨の意見具申	我方の排日抗議に対し中國側山東撤兵を要求について	張督弁に対し在留邦人保護につき申入れについて	東方會議關係	孫軍敗兵は膠濟沿線に殺到し情勢不安につき在留邦人保護のため兵力増遣方を要請について	山東出兵に対する漢口方面の排日風潮と武漢政府の対日態度について	孫軍敗兵は膠濟沿線に殺到し情勢不安につき在留邦人保護に關し申入れ	張宗昌に山東省内在留邦人保護に關し申入れ方藤田総領事宛訓令について	濟南および膠濟鐵道沿線への進出について	張宗昌に在留邦人保護に關する保障を言明せしめるよう訓令について	孫軍の行動は統制され、我が軍の出勤を要請する程切迫しおらざる状況について	濟南進兵はなお早計に失するとの判断について	山東出兵反対執行委員会において対日經濟絶交の方法決定について	孫軍敗退後の山東方面の形勢について		
854	724	723	721	720	720	646	933	853	719	719	1	718	718	717	716	715	713	713	712	712	711	711	710

二	39	昭和2年7月1日	七二	田中外務大臣より 在安東岡田領事宛（電報）	帽児山分館問題に關し吉田総領事帰任後強硬 談判を開始することに決した旨の指示につい て	98
二	40	昭和2年7月1日	二〇	田中外務大臣より 宇垣朝鮮総督宛（電報）	帽児山分館開設応援のため中江鎮に警察官増 派について	100
二	41	昭和2年7月1日	一二	田中外務大臣より 児玉関東長官宛（電報）	帽児山分館開設応援のため中江鎮に武装警察 官派遣について	101
二	42	昭和2年7月1日	機密六六四	在中国堀臨時代理公使より 田中外務大臣宛	帽児山分館開設方に関する我方第二次通告文 に対する中国側の回答について	101
三	112	昭和2年7月(2)日	一八一	在奉天蜂谷総領事代理より 田中外務大臣宛（電報）	奉天における二分五厘付加税徴収実況につい て	173
五	398	昭和2年7月2日	七四八	在中国堀臨時代理公使より 田中外務大臣宛（電報）	危急の場合の在留邦人保護計画について	509
二	43	昭和2年7月4日	二一	田中外務大臣より 宇垣朝鮮総督宛（電報）	帽児山地方官憲に対する示威的措置として吉 田総領事より朝鮮軍司令官への小部隊派遣依 頼に関する伝達について	102
七	564	昭和2年7月(4)日	一六八	在青島矢田部総領事より 田中外務大臣宛（電報）	援魯総司令名の在留邦人保護に関する宣言書 について	724
七	565	昭和2年7月(5)日	一七一	在青島矢田部総領事より 田中外務大臣宛（電報）	南北いずれを問わず在留邦人の生命財産に脅 威を与える場合適當の手段を講じる旨祝司令 に対する説明について	725
七	566	昭和2年7月(5)日	一七三	在青島矢田部総領事より 田中外務大臣宛（電報）	陳軍の青島入りに關し祝軍との交渉について	726
七	567	昭和2年7月(5)日	一七八	在濟南藤田総領事より 田中外務大臣宛（電報）	濟南への派兵決定方稟請	727
七	568	昭和2年7月(5)日	一七九	在濟南藤田総領事より 田中外務大臣宛（電報）	濟南出兵の至急決定方稟請	727
九	674	昭和2年7月(5)日	七五五	在中国堀臨時代理公使より 田中外務大臣宛（電報）	南京国民政府の不法課税に対する対応策につ き請訓	854
二	44	昭和2年7月6日	機密六七九	在中国堀臨時代理公使より 田中外務大臣宛	帽児山分館開設に關する中国側第二次回答に 対し更に申入たる覚書について	103
七	569	昭和2年7月(6)日	一七八	在青島矢田部総領事より 田中外務大臣宛（電報）	我が陸海軍による青島の秩序維持尽力方趙総 弁より依頼越しについて	728
七	570	昭和2年7月6日	一八二	在青島矢田部総領事より 田中外務大臣宛（電報）	陳に対し祝軍との衝突回避と膠濟線恢復方申 入れについて	728
七	571	昭和2年7月(6)日	一八五	在濟南藤田総領事より 田中外務大臣宛（電報）	膠濟沿線の緊張に鑑み濟南進兵に対する回訓 促進方について	730
七	572	昭和2年7月(6)日	一八七	在濟南藤田総領事より 田中外務大臣宛（電報）	郷田司令官あて陳・張兩軍衝突前に濟南への 進兵準備方要請について	730
七	573	昭和2年7月6日	八二	田中外務大臣より 在青島矢田部総領事宛（電報）	濟南進兵に關する訓令について	731

付記一 濟南進兵に付上奏要領案

- 二 濟南進兵に關する田中外務大臣と四国大使との会見録
- 三 山東派遣軍濟南進兵について

七	574	昭和2年7月6日	合二八二	田中外務大臣より 在英國松井、在米國松平各大使、在 広東森田総領事、在上海清水、在奉 天蜂谷各総領事代理宛（電報）	濟南進兵に關する訓令通報について	737
---	-----	----------	------	--	------------------	-----

九	七	二	七	六	九	八	九	七	七	二	七	七	七	三	七									
677	582	46	581	509	676	638	675	580	579	45	578	577	576	113	575									
昭和2年7月10日	昭和2年7月16日	昭和2年7月16日	昭和2年7月13日	昭和2年7月12日	昭和2年7月9日	昭和2年7月9日	昭和2年7月8日	昭和2年7月8日	昭和2年7月8日	昭和2年7月8日	昭和2年7月7日	昭和2年7月7日	昭和2年7月7日	昭和2年7月7日	昭和2年7月6日									
八〇九	商八二	朝参密八〇	機密二三六	九五一	九四五	通一八	七七〇	八六	一九四	七六	九三五	一〇一	一八八	三四七	三四七									
田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	林朝鮮軍参謀長より 烟陸軍次官宛	在濟南藤田総領事より 田中外務大臣宛	在上海清水総領事代理より 田中外務大臣宛(電報)	在上海清水総領事代理より 田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣より 在中国堀臨時代代理公使宛(電報)	在中国堀臨時代代理公使より 田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣より 在青島矢田部総領事宛(電報)	在濟南藤田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	別電 同日付田中外務大臣より 警察官中江鎮派遣について	在安東岡田領事宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣より 在中国堀臨時代代理公使宛(電報)	田中外務大臣より 在中國堀臨時代代理公使宛(電報)									
不法課税問題に対する英国の態度硬化につき 我方も領事館供託策の成果を見守るのが得策 との見解について	排日貨運動の現況について	帽児山分館設置に関する小部隊派遣につき 見具申	六月二十八日付濟南藤田総領事より張山東保安総司令宛公信支第一一 六号 孫軍北上に際し膠済沿線居住の邦人保護方について	六月二十九日付陳山東特派交渉員より在濟南藤田総領事宛書簡 右に關し回答について	六月二十九日付陳山東特派交渉員より在濟南藤田総領事宛書簡 右に關し回答について	中国側の通商条約案への我方対案の即時提出 差控え方について	英仏両国公使南京国民政府の不法課税への抗 議につき日本の主導要請について	濟南進兵に伴う兵力補充について	郷田司令官以下千六百名の濟南到着について	警察官の中江鎮派遣につき関東東庁及び朝鮮総 督府の同意を得た旨の報告について	在安東岡田領事宛第七七号	警察官の中江鎮派遣につき関東東庁及び朝鮮総 督府の同意を得た旨の報告について	濟南在留邦人を全部天津に引揚げ方について	東方会議「対支政策綱領」に関する訓令	北支駐屯軍の増援見合わせについて									
860	743	105	742	742	742	648	647	646	859	815	858	856	741	741	104	104	740	739	739	182	182	176	174	738

三	二	九	九	八	三	二	九	七	六	三	三	六	二	九	七	三	六	三	一〇				
119	49	681	680	639	118	48	679	584	512	117	116	511	47	678	583	115	510	114	722				
昭和2年7月28日	昭和2年7月27日	昭和2年7月26日	昭和2年7月26日	昭和2年7月26日	昭和2年7月25日	昭和2年7月25日	昭和2年7月23日	昭和2年7月23日	昭和2年7月23日	昭和2年7月23日	昭和2年7月23日	昭和2年7月22日	昭和2年7月22日	昭和2年7月20日	昭和2年7月20日	昭和2年7月20日	昭和2年7月19日	昭和2年7月19日	昭和2年7月17日				
九三		三三一	一〇〇二	通七九	二〇一	八三六	九九四	九九〇	二三〇	機密公 四五二	一九九	九九一	一九八	三二八	九八一	九〇	八二三	一九〇	三五八				
田中外務大臣より 在奉天吉田総領事宛(電報)	畑陸軍次官より 林朝鮮軍参謀長宛(電報)	田中外務大臣より 在上海矢田総領事宛(電報)	田中外務大臣宛(電報) 田中外務大臣宛(電報)	在中国堀臨時代理公使より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在中国堀臨時代理公使より 田中外務大臣宛(電報)	在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在上海矢田総領事宛(電報) 付記 南京事件交渉問題に関する措置案(昭和二年七月二十六日)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣より 在上海矢田総領事宛(電報)	在上海清水総領事代理より 田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣より 在奉天吉田総領事宛(電報)	在中國堀臨時代理公使より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在ソ連邦田中大使より 田中外務大臣宛(電報)				
東支線横断問題は中國側をして単独に解決促進を計らしむることについて	帽児山領事分館設置援助に関する小部隊派遣は効果の有無は別問題として決行方指示について	成功の場合領事館供託策を採る方法は妥当である旨の見解について	付加税問題に関する非公式会議開催を試み不成功の場合領事館供託策を採る方法は妥当である旨の見解について	改訂期限延長の中國側覚書に対し前例に倣い応諾について	張作霖に対する覚書につき芳沢公使への依頼について	帽児山分館設置問題に関する沈外交部秘書との会見について	功の場合領事館供託策を採る旨の領事団小委員会決議について	山東出兵問題に関する伍外交部長との会談について	南京事件処理に関し英國交渉の成行を待たれたい旨同国大使の申出について	滿蒙懸案解決促進に関する莫奉天省長宛覚書送付について	滿蒙懸案解決促進に関する莫奉天省長との会見について	南京事件に関する交渉開始を暫く見合せについて	帽児山分館開設交渉開始に当り軍隊の示威行動実施開始方朝鮮軍司令官に要請について	南京国民政府の不法課税問題に関し上海において中國側を加えた各国非公式合開催方訓令	排日運動緩和の形勢について	張作霖政権の条約違反その他不法措置に関する対処策について	英米兩國公使招請による五国公使會議の議事報告	逃奔線の東支線横断問題は滿蒙懸案解決案に對する張作霖の態度決定まで引延すよう意見具申	中國共產黨員に對する訓令事項に関する共產インターナショナル執行委員会決定について				
190	107	864	862	816	190	189	106	861	745	653	653	189	106	861	744	185	184	183	652	650	648	182	934

昭和二年（一九二七）八月

九	682	昭和2年7月29日	八四六	在中国堀臨時代理公使より 田中外務大臣宛（電報）	付加税問題に関する非公式会議開催は疑問である旨の意見具申	865
九	683	昭和2年7月29日	八四八	在中国堀臨時代理公使より 田中外務大臣宛（電報）	付加税問題に関する領事館供託案および非公式会議案についての外交団会議での討議について	866
九	684	昭和2年7月29日	一〇二〇	在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛（電報）	釐金廃止および自主関税実施に関する伍外交部長の堀代理公使宛書簡について	868
二	50	昭和2年7月30日	八五九	在中国堀臨時代理公使より 田中外務大臣宛（電報）	帽児山分館開設に関する王外交総長との会見について	107
八	640	昭和2年7月30日	通八〇	在中国堀臨時代理公使より 田中外務大臣宛（電報）	最惠国約款問題に関する王外交総長との会谈について	816
二	120	昭和2年8月1日	二二一	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛（電報）	双参謀長に対する日本側の強制手段実施の予告について	191
二	51	昭和2年8月2日	八六〇	在中国堀臨時代理公使より 田中外務大臣宛（電報）	帽児山分館問題の解決交渉を暫く保留すべき旨意見具申	109
二	52	昭和2年8月2日	一一五	在安東岡田領事より 田中外務大臣宛（電報）	臨江県知事は帽児山分館問題に関し日本側の實力進出の形勢ありと認めている旨の田中副領事の報告	111
三	121	昭和2年8月2日	二二三	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛（電報）	中国側への京奉線軍用列車満鉄付属地通過停止措置実施通告について	191
三	122	昭和2年8月2日	二一六	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛（電報）	満鉄に対し京奉線軍用列車満鉄付属地通過停止方命令希望について	193
九	685	昭和2年8月(2)日	一〇二七	在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛（電報）	付加税問題に関する非公式会議開催は結果如何にかかわらず得策である旨の意見具申	869
三	123	昭和2年8月3日	二一七	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛（電報）	張作霖政権に対する滿蒙懸案解決方針の日本側態度徹底化について	193
七	585	昭和2年8月(3)日	二二〇	在濟南藤田総領事より 田中外務大臣宛（電報）	山東撤兵の時期に関する意見具申について	746
七	586	昭和2年8月3日	公一八九	在博山佐々木書記生より 田中外務大臣宛	淄川、博山より青島方面への避難邦人婦女子帰還について	753
九	686	昭和2年8月3日	一〇三〇	在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛（電報）	郭交渉員より矢田へ領事団と伍外交部長間の斡旋方依頼について	870
二	53	昭和2年8月4日	三六七	田中外務大臣より 在中国堀臨時代理公使宛（電報）	帽児山分館問題の解決を延期する意見に同意し難い旨回訓	111
				別電一 八月二日付在奉天吉田総領事より田中外務大臣宛第二一四号 京奉線軍用列車満鉄付属地通過停止措置実施準備を求める満鉄宛電報について		191
				二 八月三日着在奉天吉田総領事より田中外務大臣宛第二一五号 同右につき関東東庁へ通電について		192
				付記一 七月二十四日付谷書記官（青島滞在）より木村亜細亜局長宛私信 現地視察報告		747
				二 七月三十一日付谷書記官（濟南滞在）より木村亜細亜局長宛私信 現地視察報告		749
				付属書 八月三日付在博山佐々木書記生より在濟南藤田総領事宛第八〇号 避難邦人婦女子の帰還について		754

日付索引

三	三	三	二	三	三	三	三	九	七	三	三	三	三	三	七	七	三	三	三	二	二
138	137	136	58	135	134	133	132	687	589	131	130	129	128	127	588	587	126	125	124	55	54
昭和2年8月8日	昭和2年8月8日	昭和2年8月8日	昭和2年8月8日	昭和2年8月6日	昭和2年8月6日	昭和2年8月6日	昭和2年8月6日	昭和2年8月(5)日	昭和2年8月(5)日	昭和2年8月5日	昭和2年8月5日	昭和2年8月5日	昭和2年8月5日	昭和2年8月(5)日	昭和2年8月4日	昭和2年8月(4)日	昭和2年8月4日	昭和2年8月4日	昭和2年8月4日	昭和2年8月4日	昭和2年8月4日
八七〇	一〇五九	三四九	二二七	関電二一五	九八	二二六	二二五	一〇四一	一〇四三	機密公 四八五	三七〇	九六	二二四	二二三	二二四	一一三	二二〇	二一九	八二	二二一	九五
田在中国堀臨時代理公使より	在上海矢田総領事より	田中外務大臣より	在奉天吉田総領事より	齋藤関東軍参謀長より	田中外務大臣より	在奉天吉田総領事より	在奉天吉田総領事より	在上海矢田総領事より	在上海矢田総領事より	在奉天吉田総領事より	田中外務大臣より	田中外務大臣より	在奉天吉田総領事より	在奉天吉田総領事より	在天津加藤総領事より	在奉天吉田総領事より	在奉天吉田総領事より	在奉天吉田総領事より	在奉天吉田総領事より	在奉天吉田総領事より	田中外務大臣より
満蒙懸案解決問題に関する本庄中将と楊宇霆との会見の様相報告	芳沢公使より森次官に対する帰任予定報告及び吉田奉天総領事の通告に関する照会について	満蒙懸案解決の強制手段につき協議のため森次官より芳沢公使に対する帰任要請について	軍隊の示威的演習は予定通り終了すべきことおよび明示的手段につき朝鮮軍司令官に回答の方稟請について	付記 八月二十九日付 満蒙懸案解決問題に関し関係各方面との連絡について	吉田奉天総領事の方針を支持する旨の報告	満蒙懸案解決方策は閣議決定を経ざるものである旨木村亜細亜局長よりの通知について	満蒙懸案解決交渉は地方的交渉とすべき旨の意見具申	満蒙懸案解決交渉の経過説明のうえ莫省長の対日態度反省をうながすよう外務次官より汪駐日公使へ申入れ依頼について	国民政府は裁釐課税の税率変更には応ずる意向についての報告	山東撤兵の時期遅延等に関する伍外交部長の抗議について	張作霖、楊宇霆に日本側意向を十分説明すべき旨の訓令	強制手段実施を暫く差控えるべき旨の訓令	京奉線軍用列車通過停止措置に關し在東三省日本各機關が共同歩調を採るべき旨の意見具申	児玉関東長官宛京奉線軍用列車通過停止措置断行を求める意見具申について	李済深広東省政府委員主席より南京政府に対し日貨排斥中止方電請について	山東撤兵問題に対する谷書記官の意見申進について	京奉線軍用列車通過停止措置実施を莫奉天省長に通告した旨の報告	京奉線軍用列車通過停止措置実行について	京奉線軍用列車通過停止措置実施を莫奉天省長に通告した旨の報告	帽児山分館問題交渉不調の場合の明示手段に關する朝鮮軍司令官よりの問合わせについて	帽児山分館問題に關し機会ある毎に地方的に相手官憲との接触を計るべき旨の訓令
205	205	205	113	204	203	202	201	200	200	871	756	199	198	198	196	196	195	194	113	112	112

三	九	三	三	二	三	九	三	三	三	三	三	九	七	三	三	三	三	九	三	三	三			
155	691	154	153	57	152	690	151	150	149	148		147	689	590	146	145		144	143	142	688	141	140	139
昭和2年8月17日	昭和2年8月16日	昭和2年8月16日	昭和2年8月16日	昭和2年8月15日	昭和2年8月14日	昭和2年8月13日	昭和2年8月13日	昭和2年8月13日	昭和2年8月13日	昭和2年8月12日		昭和2年8月12日	昭和2年8月11日	昭和2年8月11日	昭和2年8月11日	昭和2年8月10日		昭和2年8月10日	昭和2年8月10日	昭和2年8月10日	昭和2年8月9日	昭和2年8月9日	昭和2年8月9日	昭和2年8月8日
八九六	一〇八六	関電二二六		機密三三四	二四二	八九〇	二二	二二九		支四七六		八八九	一〇六六	一〇六七	八八六	八七九		一〇三	三五一	一〇二	三七一	支四七〇	三五〇	支四六七
在中國堀臨時代理公使より 田中外務大臣宛(電報)	在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	齋藤関東軍参謀長より 南参謀次長宛(電報)	別電 八月十六日付在奉天吉田総領事より 旅順會議の結果報告について	在安東岡田領事より 田中外務大臣宛	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在中國堀臨時代理公使より 田中外務大臣宛(電報)	児玉関東長官より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在北京本庄公使館付武官より 南参謀次長宛(電報)	支四七六	在中國堀臨時代理公使より 田中外務大臣宛(電報)	在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在中國堀臨時代理公使より 田中外務大臣宛(電報)	在中國堀臨時代理公使より 田中外務大臣宛(電報)		田中外務大臣より 田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣より 田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣より 田中外務大臣宛(電報)	在中國堀臨時代理公使宛(電報)	在北京本庄公使館付武官より 南参謀次長宛(電報)	田中外務大臣より 在上海矢田総領事宛(電報)	在北京本庄公使館付武官より 南参謀次長宛(電報)
滿蒙懸案問題に関する王外交総長との会談について	旅順會議の結果報告について	旅順會議の結果報告について	旅順會議の結果報告について	森次官、芳沢公使らとの旅順における会談に関する森次官報告	帽兒山分館問題に関する田中副領事と臨江県知事との会見顛末について	米國駐華公使に説明すべき滿蒙懸案に関する日本側の意向について	日本はあくまで二分五厘付加税反対の立場をとるべき旨の意見具申	東三省鉄道問題に関する田中首相、出淵次官、山本満鉄社長の会談及び満鉄の権限に関する山本社長の要望について	森次官、芳沢公使らとの会談に関する心得方内示について	日本側強制手段通告に対する王外交総長及び楊宇霆等の反応について	滿蒙懸案解決交渉の中心地を北京あるいは奉天に置くか指示希望について	滿蒙懸案解決に関する北京政府の意向伝達のため陶尚銘及び松井少将の奉天出張について	山東撤兵条件に関する蒋介石ほかとの南京における会談について	各国が強硬姿勢を保持する限り國民政府は新税率を實行せんとする芳沢公使の見解について	滿蒙懸案問題に関する本庄と張作霖との会談について	滿蒙懸案解決に関する楊宇霆との会談について	汪駐日公使宛	滿蒙懸案解決問題に関する日本側の態度を汪駐日公使へ嚴重申入れについて	芳沢公使に対し滿蒙懸案問題に関し森政務次官、吉田奉天総領事と協議すべき旨の訓令	領事館供託策実施の決意を中國側に示すことは得策と認められる旨の見解について	滿蒙懸案の交渉方針に関し芳沢公使と協議方訓令	森次官より芳沢公使へ吉田総領事の対張作霖通告文に対する協力援助方について	滿蒙懸案解決問題に関する張作霖との会見について	滿蒙懸案解決問題に関する楊宇霆との会見について
227	876	227	226	114	225	874	224	222	221	220		873	757	219	217	213	211	211	210	872	209	209	206	206

日付索引

三	156	昭和2年8月17日	一一一〇	田中外務大臣宛(電報)	吉田奉天総領事の京奉線軍用列車通過停止の通告措置について	228
三	157	昭和2年8月18日	九〇三	在奉天吉田総領事より 木村亜細亜局長宛	旅順会議の協議の様相報告について	232
九	692	昭和2年8月19日	一一〇九	在中国堀臨時代理公使より 田中外務大臣宛(電報)	国民政府の関税自主権実行に対し共同抗議または領事館供託を実施すべき旨の意見具申	877
二	58	昭和2年8月20日	本機密二一	在帽児山田中副領事より 田中外務大臣宛	帽児山分館問題交渉に関する吉田総領事への提案について	116
七	591	昭和2年8月20日	一一〇九	在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在留本邦人の生命財産の安全保障方に関する南京政府の覚書提出について	758
七	592	昭和2年8月20日	二二三	在濟南藤田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	山東撤兵を考慮すべき時期と見られる旨の意見具申について	758
九	693	昭和2年8月20日	一一〇五	在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	英米仏総領事より二分五厘付加税領事館供託方要請について	878
九	694	昭和2年8月20日	一一〇七	在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	自主関税実施問題解決につき郭交渉員に示唆について	879
九	695	昭和2年8月20日	一一一三	在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	自主関税実施問題に関する我が方提案に対する伍外交部長の意向について	879
九	696	昭和2年8月21日	九一〇	在中国堀臨時代理公使より 田中外務大臣宛(電報)	日本はあくまで二分五厘付加税に関する従来主張を貫くべき旨の意見具申	880
三	158	昭和2年8月23日	二五四	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	旅順会議に関する木村亜細亜局長への追加報告について	233
七	593	昭和2年8月23日	九一五	在中国芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	山東在留邦人の安全保障に関する国民政府覚書の取扱いについて	760
九	697	昭和2年8月23日	一一二〇	在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	自主関税実施延期に関する矢田・郭交渉について	881
九	698	昭和2年8月23日	九一七	在中国芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	矢田・郭協定および九月一日以降課税実施の場合は領事館供託策実行につき日英仏公使合意について	882
三	159	昭和2年8月24日	九二四	在中国芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	張作霖との会談の際説明したる日本と東三省との密接なる政治経済関係について	234
三	160	昭和2年8月24日	九二五	在中国芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	満蒙懸案に関する張作霖政権との交渉は難航が予想される旨の報告	235
九	699	昭和2年8月24日	機密八六六	在中国芳沢公使より 田中外務大臣宛	自主関税実施問題に関するエドワードの覚書および自主関税実施中止の旨エドワードへ説明について	884
三	161	昭和2年8月27日	九三二	在中國芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	芳沢・張会談内容漏洩問題に関する楊宇霆との会見について	236
三	162	昭和2年8月27日	九三五	在中國芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	満蒙懸案解決に関する楊宇霆との会見について	237
三	163	昭和2年8月29日	支五一二	在北京本庄公使館付武官より 南参謀次長宛(電報)	芳沢公使と張作霖、楊宇霆との会談について	239
三	164	昭和2年8月30日	支五一五	在北京本庄公使館付武官より 南参謀次長宛(電報)	満蒙懸案解決に関する楊宇霆との会談について	240
五	369	昭和2年8月30日	九三七	在中國芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	日英協調及び上海派遣軍隊縮小に関する英公使談話について	483
八	641	昭和2年8月30日	通八二	在中國芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	北京政府の交渉方法についての希望および南京政府へ改訂交渉内容通知方承諾について	818
九	700	昭和2年8月30日	一一四四	在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	釐金撤廃、自主関税実施延期に関する国民政府の公文について	888

付記 エドワード覚書大意

昭和二年(一九二七) 九月

五	370	昭和2年8月(3)日	九四一	在中国芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	英国上海派遣軍五大隊撤退の情報について	484
七	594	昭和2年8月(3)日	九四〇	在中国芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	山東撤兵に関する北京外交部宛電書について	760
七	595	昭和2年8月(3)日	二七〇	在青島矢田部総領事より 田中外務大臣宛(電報)	張総弁および祝司令への撤兵通告について	761

三	185	昭和2年9月(1)日	九四八	在中国芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	中国側の満鉄對抗策について	241
九	701	昭和2年9月(1)日	九四三	在中国芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	関税自主権回収、二分五厘付加税承認問題に 関する英国公使との会談について	889
三	166	昭和2年9月(2)日	九五八	在中国芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	日本の満蒙懸案解決方針に関する新聞報道を 訂正する楊宇霆の記者会見について	241
五	371	昭和2年9月(2)日	二七七	在英国松井大使より 田中外務大臣宛(電報)	英国上海防衛軍一部引揚に関する新聞論調に ついて	484

付記一 昭和二年九月一日英国軍隊の一部中国よりの撤退について

二 昭和三年二月二日在中国英国軍隊の一部撤退について

三 昭和二年七月十九日調在中国各国兵力一覧表

七	596	昭和2年9月2日	公八七九	在中国芳沢公使より 田中外務大臣宛	山東撤兵に関する電書送付について	761
				付属書 八月三十日付山東撤兵に関する在中國日本公使館より中国外交部宛電書		762

九	702	昭和2年9月(3)日	九六〇	在中国芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	エドワード総稅務司代理の中国南北両政府宛 電書についての重光とエドワードの会談につ いて	890
---	-----	------------	-----	--------------------------	--	-----

別電 九月三日着在中國芳沢公使より田中外務大臣宛第九六一号
中国関税自主権回復に関するエドワード総稅務司代理の中国南北両政
府宛電書について

七	597	昭和2年9月(5)日	一一二	在博山佐々木書記生より 田中外務大臣宛(電報)	博山および淄川の軍隊引揚げについて	762
七	598	昭和2年9月(5)日	一一二	在張店官城書記生より 田中外務大臣宛(電報)	張店の軍隊引揚げについて	763
七	599	昭和2年9月(5)日	七六	在坊子福士書記生より 田中外務大臣宛(電報)	坊子の軍隊引揚げについて	763
三	167	昭和2年9月(6)日	四〇〇	田中外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	商租問題の交渉は差控えるべき旨の訓令	242
三	168	昭和2年9月(6)日	四〇一	田中外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	奉天における排日運動に関し張作霖へ抗議す べき旨の訓令	243
三	169	昭和2年9月(6)日	四〇二	田中外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	奉天における排日運動に関する森次官の要望 について	244
七	600	昭和2年9月(6)日	二四六	在濟南藤田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	濟南の軍隊引揚げについて	763
七	601	昭和2年9月(6)日	二四七	在濟南藤田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	張督弁に対する撤兵通告について	763
七	602	昭和2年9月(6)日	二八五	在青島矢田部総領事より 田中外務大臣宛(電報)	青島以西の軍隊全部の青島集中について	764
七	603	昭和2年9月(7)日	一一七〇	在上海矢田部総領事より 田中外務大臣宛(電報)	撤兵声明中将来再派兵の一節に対する国民政 府外交部の抗議について	764
七	604	昭和2年9月(8)日	二八八	在青島矢田部総領事より 田中外務大臣宛(電報)	山東派遣軍の帰国について	765

三	182	昭和2年10月4日	田中外務大臣 テイリ―英国大使 会談	264
三	181	昭和2年10月(4)日	田中外務大臣宛(電報)	264
二	61	昭和2年10月4日	在安東岡田領事より 田中外務大臣宛(電報)	119
三	179	昭和2年9月30日	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	260
三	178	昭和2年9月(29)日	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	259
三	177	昭和2年9月28日	機密二四九 田中外務大臣より 在中国芳沢公使宛	255
六	513	昭和2年9月27日	付 記 九月十四日木村局長より有田局長へ引継用南京事件交渉	655
五	400	昭和2年9月27日	在中国芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	511
五	399	昭和2年9月23日	機密九四八 在中国芳沢公使より 田中外務大臣宛	510
七	642	昭和2年9月(20)日	通八四 在中国芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	818
七	606	昭和2年9月15日	機密九二六 在中国芳沢公使より 田中外務大臣宛	765
三	176	昭和2年9月14日	北公秘二五 満鉄北京公使所長より 在中国芳沢公使宛	250
七	605	昭和2年9月(13)日	二九三 在青島矢田部総領事より 田中外務大臣宛(電報)	765
三	175	昭和2年9月13日	二九四 在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	249
三	174	昭和2年9月13日	二九三 在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	249
二	60	昭和2年9月(12)日	一六八 在安東岡田領事より 田中外務大臣宛(電報)	118
三	173	昭和2年9月(11)日	九八一 在中国芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	249
三	172	昭和2年9月10日	九八〇 在中国芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	245
三	171	昭和2年9月10日	一二五 田中外務大臣より 在奉天吉田総領事宛(電報)	245
二	59	昭和2年9月10日	九一 田中外務大臣より 在安東岡田領事宛(電報)	118
三	170	昭和2年9月9日	四〇四 田中外務大臣より 在中国芳沢公使宛(電報)	244
三	170	昭和2年9月9日	中国側の対応を見守るべく暫く交渉を見合わせべき旨の訓令	244
三	171	昭和2年9月10日	朝鮮総督府の増員および関東庁の中江鎮派遣警察官の引揚について	118
三	172	昭和2年9月10日	中国側の対応を暫く静観すべき旨の訓令	245
三	173	昭和2年9月(11)日	奉天の排日運動取締りおよび東三省鉄道問題に関する楊宇霆との会見について	245
二	60	昭和2年9月(12)日	奉天省における不法課税について	249
三	174	昭和2年9月13日	帽児山分館用家屋に関する田中副領事の要望について	118
三	175	昭和2年9月13日	奉天省における不法課税に関し芳沢公使への要望について	249
七	605	昭和2年9月(13)日	中国側の対応を静観する方針を持續すべき旨の満鉄社長の意見具申	249
三	176	昭和2年9月14日	青島陸戦隊の撤退について	249
七	606	昭和2年9月15日	洮昂線の東支線横断に関する大蔵満鉄理事と于長富洮昂局長との間の取極経過について	250
七	606	昭和2年9月15日	山東撤兵通告に対する中国側覚書について	765
七	642	昭和2年9月(20)日	付属書 九月十三日付中国側覚書写	766
七	642	昭和2年9月(20)日	最惠国約款に関する中国側声明の議事録記入を王外交総長同意について(第二十回会議議事要領)	818
五	399	昭和2年9月23日	北京政府の撤兵要求に関するマイヤー米國代理公使談話について	510
五	400	昭和2年9月27日	米國は日本増派軍の撤退を希望せざる旨の米國代理公使談話について	511
六	513	昭和2年9月27日	南京事件交渉に関する英国側提議に対する回答について	655
三	177	昭和2年9月28日	機密二四九 田中外務大臣より 在中國芳沢公使宛	255
三	178	昭和2年9月(29)日	二 九月二十六日付 本庄中将帰任に際して排日及び滿蒙懸案解決交渉に關し田中総理大臣より張作霖宛伝言案	257
三	179	昭和2年9月30日	莫奉天省長の転任及び楊宇霆の奉天帰来について	259
三	179	昭和2年9月30日	對中国交渉はあくまで外務省を中心とすべき旨の意見具申	260
二	61	昭和2年10月4日	合二一 在安東岡田領事より 田中外務大臣宛(電報)	119
三	181	昭和2年10月(4)日	一〇三五 在中国芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	264
三	182	昭和2年10月4日	田中外務大臣 テイリ―英国大使 会談	264

三	四	六	四	四	四	四	四	四	四	四	五	四	四	八	四	四	四	
188	217	514	216		215	214	213		212	211	210	300	209	208	643	207	206	
昭和2年10月31日	昭和2年10月26日	昭和2年10月24日	昭和2年10月22日		昭和2年10月21日	昭和2年10月20日	昭和2年10月20日		昭和2年10月20日	昭和2年10月19日	昭和2年10月19日	昭和2年10月18日	昭和2年10月18日	昭和2年10月18日	昭和2年10月17日	昭和2年10月16日	昭和2年10月16日	
一〇七六 機密	一一三〇	一一二三	支六四一		一八四〇 機密	一一一五	一一一三		一一一二	一〇四四 機密	一〇四三 機密	五七四	支六二六	一五〇	通八五	一〇九五	四五四	
在中國外務大臣宛	在中國外務大臣宛(電報)	在中國外務大臣宛(電報)	在北京本庄公使館付武官より 白川陸軍大臣宛(電報)		田中外務大臣より 山本満鉄社長宛	在中國外務大臣宛(電報)	在中國外務大臣宛(電報)		在中國外務大臣宛(電報)	在中國外務大臣宛	在中國外務大臣宛	在漢口高尾総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在北京本庄公使館付武官より 白川陸軍大臣宛(電報)	田中外務大臣より 在奉天吉田総領事宛(電報)	在中國外務大臣宛(電報)	在中國外務大臣宛(電報)	田中外務大臣より 在中國外務大臣宛(電報)	
機密	機密	機密	機密	機密	機密	機密	機密	機密	機密	機密	機密	機密	機密	機密	機密	機密	機密	
田中外務大臣宛	在中國外務大臣宛(電報)	在中國外務大臣宛(電報)	在北京本庄公使館付武官より 白川陸軍大臣宛(電報)		田中外務大臣より 山本満鉄社長宛	在中國外務大臣宛(電報)	在中國外務大臣宛(電報)		在中國外務大臣宛(電報)	在中國外務大臣宛	在中國外務大臣宛	在漢口高尾総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在北京本庄公使館付武官より 白川陸軍大臣宛(電報)	田中外務大臣より 在奉天吉田総領事宛(電報)	在中國外務大臣宛(電報)	在中國外務大臣宛(電報)	田中外務大臣より 在中國外務大臣宛(電報)	
274	308	656	308	307	304	302	302	302	299	299	298	418	417	296	296	819	295	
...

日付索引

四	四	四	八	四	四	一〇	四	四	四	九	四	四	四	四	四	四
242	241	225	644	240	224	724	223	222	221	703	220	219	218	239	238	
昭和2年11月23日	昭和2年11月22日	昭和2年11月22日	昭和2年11月18日	昭和2年11月18日	昭和2年11月16日	昭和2年11月14日	昭和2年11月14日	昭和2年11月12日	昭和2年11月11日	昭和2年11月9日	昭和2年11月7日	昭和2年11月7日	昭和2年11月7日	昭和2年11月3日	昭和2年11月1日	
機密六〇七	五二二	一一三二	通機密五二	六六	五一〇		一一九六	五〇五	一一七七	一一七六	四九四	四九二	四九二	三四六	普通五四四	
田中外務大臣宛	在中國芳沢公使宛（電報）	在中國芳沢公使宛（電報）	在中國芳沢公使宛	在ニューヨーク内山総領事代理より田中外務大臣宛（電報）	田中外務大臣宛（電報）	出淵外務次官より在中國芳沢公使宛、在上海矢田、在漢口高尾、在奉天吉田各総領事各宛	在中國芳沢公使宛（電報）	田中外務大臣宛（電報）	在中國芳沢公使より田中外務大臣宛（電報）	在中國芳沢公使より田中外務大臣宛（電報）	山本滿鉄社長より在北京江藤豊二宛（電報）	田中外務大臣宛（電報）	田中外務大臣宛（電報）	田中外務大臣より在米國松平大使宛（電報）	在ニューヨーク内山総領事代理より田中外務大臣宛	
満鉄借款に對する米國國務省の態度に關する新聞記事について	滿鉄借款に對する米國國務省の態度に關する新聞記事について	滿鉄借款に對する米國國務省の態度に關する新聞記事について	滿鉄借款に對する米國國務省の態度に關する新聞記事について	滿鉄借款に對する米國國務省の態度に關する新聞記事について	滿鉄借款に對する米國國務省の態度に關する新聞記事について	張作霖宛返簡に鐵道問題以外も触れる必要ある旨請訓	張作霖宛返簡に鐵道問題以外も触れる必要ある旨請訓	張作霖宛返簡に鐵道問題以外も触れる必要ある旨請訓	張作霖宛返簡に鐵道問題以外も触れる必要ある旨請訓	張作霖宛返簡に鐵道問題以外も触れる必要ある旨請訓	東三省治安維持に關する交換公文案および日中經濟提携案に關する中國側との交渉に應ぜざるようにとの訓令	鐵道問題の具體的條件は總て滿鉄の直接交渉に依るとの決定について	吳晋外交次長の關稅協定交渉申入れおよび中國關稅問題に關する英・仏國公使との會談について	滿鉄借款交渉は當分の間保留し交渉結果についても發表せざるを最善の策と信ずる旨のラモントより井上日銀総裁宛電報について	滿鉄借款に對する米國國務省の態度に關する新聞論評報告	
339	338	318	819	337	317	337	315	315	314	894	314	313	312	311	309	334

四	232	昭和2年12月5日	一二八七	在中国芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	田中外相宛張作霖書簡受領について	325
四	231	昭和2年12月4日	支七二二	在北京本庄公使館付武官より 南参謀次長宛(電報)	張作霖の田中外相宛書簡および楊の米国記者 に対する失言に関する松井、町野と楊宇霆と の会談について	325
四	230	昭和2年12月3日	支七二〇	在北京本庄公使館付武官より 南参謀次長宛(電報)	張作霖の田中外相宛書簡は芳沢公使経由にて 発送について	324
四	250	昭和2年12月(2)日	三〇一	在米田松平大使より 田中外務大臣宛(電報)	張作霖の田中外相宛書簡および楊の米国記者 に対する失言に関する松井、町野と楊宇霆と の会談について	358
四	229	昭和2年12月2日	五三九	田中外務大臣より 在中国芳沢公使宛(電報)	張作霖との書簡交換遅滞なく取計らい方訓令	324
八	646	昭和2年12月(1)日	通八八	在中国芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	満鉄借款に關し國務省としての態度を表明す る時期に達していない旨の國務長官談話につ いて	821
四	249	昭和2年12月1日	支七二〇	満鉄東京支社長より 山本満鉄社長宛(電報)	満鉄による米田側排斥等に関する虚報につ いて	357
四	248	昭和2年11月30日	普通六一七	在北京本庄公使館付武官より 野村軍令部次長宛(電報)	中国の主要銀行家及び実業家は満鉄借款反対 決議を在米中国公使宛に打電し、國務長官に 提出方依頼した等の新聞記事について	355
四	247	昭和2年11月30日	機密一三七	在北京本庄公使館付海軍武官より 大角海軍次官宛(電報)	楊宇霆の英米記者に対する満鉄借款問題等に 關する談話並びにこれに対する芳沢公使の反 駁について	355
四	246	昭和2年11月30日	合二四五	田中外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	日本政府は満州における外国の經濟活動を排 斥する意思のないことを井上日銀総裁よりラ モンドへ電報せしめたることについて	354
四	228	昭和2年11月30日	支七一	在北京本庄公使館付武官より 南参謀次長宛(電報)	芳沢公使宛書簡案に關する楊宇霆および張作 霖の強硬な反対態度について	322
四	227	昭和2年11月30日	一二五四	在中國芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	芳沢公使宛書簡案に關する本庄武官と楊宇霆 および張作霖との会談報告について	320
四	245	昭和2年11月29日	支七一	井上日銀総裁より ラモンド宛(電報)	日本は満州における外国の經濟活動に干渉す る意思がないこと並びに米田側売却ルールに 對する輸送妨害の虚報について	342
四	244	昭和2年11月(2)日	一二四七	在中國芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	滿蒙問題その他に關する楊宇霆の米田新聞記 者との会談について	340
四	243	昭和2年11月(2)日	二九五	在米田松平大使より 田中外務大臣宛(電報)	滿鉄借款は全然私的取引で反対する理由がな い旨の國務省発表等に関する新聞記事につ いて	340
四	226	昭和2年11月26日	五二九	田中外務大臣より 在中國芳沢公使宛(電報)	張作霖の芳沢公使宛書簡發出につき本庄繁武 官をして説得方訓令	319
八	645	昭和2年11月(2)日	一三三七	在上海矢田總領事より 田中外務大臣宛(電報)	對外条約及び契約の効力に關する国民政府の 宣言について	821

昭和二年(一九二七)十二月

別電 十二月五日付在中國芳沢公使より田中外務大臣宛張作霖書簡訳文

一〇	五	二	六	二	六	一〇	四	四	四	四	九	四	四	四	四	四	四	四	四		
726	372	65	516	64	515	725	257	256	237	236	704	255	235	254	253	252	234	233	251		
昭和2年12月19日	昭和2年12月19日	昭和2年12月19日	昭和2年12月17日	昭和2年12月17日	昭和2年12月16日	昭和2年12月15日	昭和2年12月14日	昭和2年12月14日	昭和2年12月14日	昭和2年12月14日	昭和2年12月(日)	昭和2年12月11日	昭和2年12月10日	昭和2年12月7日	昭和2年12月7日	昭和2年12月(7)日	昭和2年12月7日	昭和2年12月6日	昭和2年12月(5)日		
諜報機密 一一一八	上海電 一八七	一三三六	四三六	五六八	四三三	機密 一二七七	機密 二二七〇	機密 六三三七	機密 二二七〇	三五九	一三〇七	三五二	一三一一	普通六二五	公七三八	三〇七	五四九	支七二五	一三五二		
田中外務大臣宛	在上海重藤中佐より 南参謀次長宛(電報)	在中國芳次公使より 田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣より 在上海矢田総領事宛(電報)	田中外務大臣より 在中國芳次公使宛(電報)	田中外務大臣より 在上海矢田総領事宛(電報)	在中國芳次公使より 田中外務大臣宛	在中國芳次公使より 田中外務大臣宛	在ニュー・ヨーク内山総領事代理より 田中外務大臣宛	在中國芳次公使より 田中外務大臣宛	田中外務大臣より 在米田松平大使宛(電報)	在中國芳次公使より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在中國芳次公使より 田中外務大臣宛(電報)	在ニュー・ヨーク内山総領事代理より 田中外務大臣宛	在奉天吉田総領事より 田中外務大臣宛	在米田松平大使より 田中外務大臣宛(電報)	在中國芳次公使より 田中外務大臣宛(電報)	在北京本庄公使館付武官より 南参謀次長宛(電報)	在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛(電報)		
付記 広東共産軍事件並びにソ連邦領事引揚問題(十二月二十六日調)					別電 十二月十六日付田中外務大臣より在上海矢田総領事宛第四三四号 修正解決基礎案 付記 高裁案(十一月二十一日) 南京事件交渉再開方に関する件					別電 十二月十四日付田中外務大臣より在米田松平大使宛第三六〇号 山本・張鐵道協約について											
947	944	489	121	659	121	657	656	656	942	332	331	896	896	362	329	361	360	328	327	359	327
国民政府の対ソ連邦断交の経緯について	ダンカン英司令官帰国について	田中副領事の引揚は楊宇霆、劉省長等の意向を待つべき旨回答について	南京事件交渉再開に関する訓電中の字句訂正について	田中副領事を安東まで引揚げしめることに関する意見問合わせについて	満鉄借款が無期延期に至った事情について	中国問題対策に関する堀・マイヤー米参事官会談について	南京事件交渉再開に関する訓令について	山本・張鐵道協約に関する張作霖宛回答書簡写について	満鉄借款に関する米田松平大使の外債応募監督に関する米国内の論議について	満鉄借款が無期延期に至った事情について	中国問題対策に関する堀・マイヤー米参事官会談について	張作霖宛回答書簡の交付および日中経済提携、鐵道問題等に関する張作霖との会談について	奉天省議会の満鉄借款反対通電等に関する莫省長の態度について	中国暫行税率および関税自主権問題に関する英本國政府の意向伝達について	田中外務大臣宛第一三〇八号	鐵道問題その他滿蒙懸案に関する対張作霖交渉経過について	芳沢公使より張作霖宛回答書簡案について	滿鉄借款に関する伍外交部長の米田松平大使宛宛抗議について	滿鉄借款に関する伍外交部長の米田松平大使宛宛抗議について		

三	189	昭和2年12月22日	一三四九	在中国芳沢公使より	不法課税問題及び帽児山分館問題に関する解決交渉について	275
八	647	昭和2年12月22日	通九〇	在中国芳沢公使より	互恵税率および暫行税率の商議開始の申入の意義並びにその申入れの可否請訓について	822
一〇	727	昭和2年12月22日	諜報機密 一一三五	在上海矢田総領事より	ソ連邦領事館員の中国退去について	948
三	190	昭和2年12月24日	三六五	在奉天吉田総領事より	不法課税問題及び帽児山分館問題に関する意見具申	276
六	517	昭和2年12月24日	一三六二	在中国芳沢公使より	南京事件解決交渉に関する英国側の意向について	659
三	191	昭和2年12月26日	五八一	田中外務大臣宛(電報)	帽児山分館設置問題と付加税問題とは区別して交渉すべき旨訓令	277
三	192	昭和2年12月27日	一三八四	在中国芳沢公使より	不法課税問題の交渉について	277
八	648	昭和2年12月29日	一三九五	在中国芳沢公使より	中国側の一方的条約廃棄問題につき各国共同提議したい旨の英本国政府の意向について	823
八	649	昭和2年12月30日	一四〇二	在中國芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	英国の条約廃棄問題に関する对中国共同提議案をめぐる六国公使会議について	825
六	518	昭和2年12月		別電 四月三十日着在中国芳沢公使より田中外務大臣宛第一四〇三号 条約廢棄問題に関する对中国共同提議修正案		826
六	519	昭和2年12月			漢口四三事件經過調	660
					漢口事件善後交渉經過調	666

日本外交文書
昭和期I第一部第一卷
(昭和二年)
不許複製

Documents on
Japanese Foreign Policy
Showa Era, Series I (1927)
Part 1, Volume 1

平成元年二月二五日印刷
平成元年三月一〇日發行

外務省編纂
外務省發行

東京都千代田区神田佐久間町
三―三七
印刷所 文唱堂印刷